SEPTEMBER 11, 1920. NO. 7483　The Japanese American News　大正九年九月十一日（土）第七千四百八十三號

CALIFORNIA STATE LIBRARY

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT 650 ELLIS STREET, SAN FRANCISCO, CALIFORNIA. PHONE PROSPECT 236
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER.
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY......ONE YEAR......$11.00
DAILY......SIX MONTHS......5.20
DAILY......ONE MONTH......1.00
SINGLE COPIES......5 CENTS
BRANCHES
DENVER, SACRAMENTO, FRESNO, STOCKTON, LOS ANGELES, SAN JOSE, NEW YORK, SALT LAKE, OAKLAND, SEATTLE, OGDEN, VACAVILLE, PORTLAND, WATSONVILLE

日米　外交と州權　新制度必要

加州日本人問題は、多くの場合日米兩國政府間意見の一致を見るも、加州を制すること容易ならずして困難す。學童問題に於て然り、前回の土地法問題に於て然り。今回の一般投票問題に於て同樣なるが如し。學童問題に於ては、時のルーズベルト大統領が例の大棍棒を提げて加州の前に立ち塞がり、日本側より見れば甚だ不得策なりし布哇轉航禁止を以て加州を納得せしめ、前回の土地法問題に際しては、ウイルソン大統領が數回加州知事及び州會に警告を發し、國務卿ブライアン氏を西下せしめて說く處ありたるが、加州は州權擁護の名を以て中央政府の希望を一蹴して現行の土地法を制定したることは何人も知れる處なり。觀じ來れば加州は、日米兩國政府に反對し、挑戰する一獨立國たるの觀あり。土地所分の權能が憲法及び條約規定の範圍外に於て、全然州の自治權內に在る制度が、是くの如き奇觀を呈するに至りたるものにて、現在の制度そのものに修正の加へられざる限り、將來同樣の紛議が日本若しくは他の外國と米國との間に起る事を避け難かるべし。

今回の問題に於ても、日本政府側は日本移民の絕對禁止に同意し、紳士協約の改締なり、或は聲明書を新たに發表するなりして、在米日本人の增加により少なからざる不安を感じ居る加州人に安心を與ふると同時に、既に加州內に居住せる日本人、米國內に在る僅か十數萬の日本人に對しては、平等の待遇保護を與ふるといふ解決方針を以て米國政府に交涉中にて、米國政府も大體に於て此主義には同意し居るが如し。此同意は全體をしての米國民の對日本人態度にして、不同意なるは加州其他排日派に屬する一部の市民に過ぎざれば、全米國民を代表する地位にある中央政府の同意すべきは勿論ならざる可からず。左らば中央政府として斯かる場合如何にするを可とするかといふ次の問題來るべく、既に主義に於て同意したる以上は、之が實現を圖るべきは自然の歸結なり。案ふに加州の排日法案一般投票は今日外部より停止せしむる能はざれば、唯一の方法として多數を以て之を否決するに在り。即ち共和、民主兩黨の領袖が相提携して、徹底的に加州民に警告を與へ、あらゆる方法を以て加州民に問題の性質を了解せしめ、別個の解決方法を示して『ノー』の投票を爲さんことを希望し、慫慂することなり。政爭に利用せらるゝを避くる爲め兩大政黨が同一態度を以て之に當るを必要とすべきが、若し之が不可能ならば加州の投票だけは成行に任せて別に之を無效に歸せしむる途を講ずるより外無し。無效に歸せしむる方法としては、憲法違反を以て大審院に於て廢棄するか、日本人の歸化權を認むるか、又は在米日本人の生業保障といふ邊より農業用地の所有賃借權を認むるかの三途あり。第一の途は何れにしても行はるべきが、之は加州々會が違反の點を避けて別に立法すべきが故に完全なる方法に非ざれば、後の二途の中一を選ぶを賢なりとすることも勿論なるが、最後の問題は中央政府が加州排日一派の反對を抑壓して、此正義人道より出でたる公正なる解決を斷行し得るや否やに在り。而して此問題は日本が米國政府を說き之を動かし得る程度如何にも大なる關係を有するが故に、日本は最も賢明にして然かも强硬なる態度を以て米國政府を動かし、能ふべくんば兩黨の領袖を動かさんことを望まざるを得ず。日本の關係し得る範圍に非ざるも米國が國際問題に關係する部分の州權を制御し得べき新制度を立つるは、最も必要なる事なるに似たり。

斷食市長瀕死

斷食二十九日目のコーク市長マクスウイニー氏の容體は眞に死に瀕し居れり。人道の名の下に氏を一旦釋放するは英政府の正に爲すべき處ならざる可からず。然れども愛蘭土人も亦合法的ならざる一切の獨立運動を今後中止せざる可からず。然らずんば益々世界の同情を失ふべし。

死灰に火を點ずる乎

桑港日本人會問題に關し在米日本人會は急遽本日を以て臨時參事員會を開く豫定なりしが數日間延期せらるゝ事となれり。在日會が死灰に火を點じて新たに騷動を起さんとするならば、夫れも亦必ずしも惡しからず。雙方の主張を一切公開し、輿論を基礎とし公明なる解決を告ぐる事も望ましければなり。

極東調係電報（九月十日聯合通信）

●支那と過激派の接近

△英佛列强極東の情勢を憂慮

東部西比利トランスバイカル州ウエルフネウヂンスクに於ける極東露領共和臨時政府と支那政府とは接近しつゝありウエルフネウヂンスクの臨時政府は最初過激派と殆んど關係なかりしが最近に至りてモスコーの過激派政府に全然降服しモスコー政府の指揮を受けつゝあり故に英佛兩國政府は支那政府と右露領臨時政府との關係に注目し情勢を憂慮しつゝあり

▲過激派支那に承認を求む

モスコー過激派政府は支那をしてモスコー政府を承認せしむべくあらゆる手段を講じつゝあり右の承認運動は政治的目的の外に經濟的目的を有す即ち過激派政府は支那と協約を結び滿洲より穀物及び其他の天產物を自由に輸入し以て歐洲露國に於ける來るべき冬季の饑餓を緩和せんとしつゝあり

▲日本の勢力を滿蒙より驅逐

モスコー過激派政府は(一)日本を主とする聯合列强特使に依つて管理せられつゝある東淸鐵道の支配權を支那に與ふ(二)露國舊帝政時代に締結せられ露國が蒙古に於て諸利權を獲得すべく規定せる露支諸條約を破棄す(三)露國は支那に於ける治外法權を放棄すとの條件を支那に提供して支那をしてモスコー過激派政府の存在を承認せしめんとしつゝあり

▲支那を過激化せん

モスコー過激派政府は過激派政府承認の外に支那に於て過激主義を宣傳して印度及び其他の東洋に於ける英國の勢力を全滅せんとするの巧妙なる陰謀を有す

▲列强中佛國のみ支那に抗議

[illegible] 東露領臨時政府と外交的交涉を試むるも不可なしとの意見を吐きつゝありと(華府發)

▲附記――支那政府とウエルフネウヂンスクの臨時政府とが交涉を開始せるは事實なれど右の交涉は目下通商上の交涉に過ぎざるものゝ如し

●内田外相米議招待

九日東京を出發せる極東訪問米國議員團は内田外相主催の午餐會に招待せられたり右の午餐會に閣員全部及び內外の名士連列席せり米國議員團一行は九日午後橫濱に於て盛大なる歡迎を受けたり(東京發)

●外蒙古境に農民政府樹立

外蒙古亞爾泰山に近き西比利亞爾泰地方の農民は過激派地方政府を倒して農民共和政府を組織せり右政府部內に軍人三名市民三名とを以て成る軍事委員會設けられたりと(哈爾賓發)

歐洲新情勢電報（九月十日聯合通信）

●英佛の反目甚だし

佛國海軍通にして政論家なるグイアンノー氏は巴里新聞「ラツペル」に次の如き論文を寄せたり『英國は獨逸海軍と商船とを全滅し佛國の獨逸陸軍破壞に反對す英國は獨逸植民地の大部分を占領せり英國は獨逸に接近し露國を間接に援助しつゝあり英國は佛國が獨逸に代りて世界の工業國たらんとする計畫を破壞しつゝあり』

▲日く英國は佛國を壓迫す

『英國は右の外に伊太利と西班牙とを利用して佛國を壓迫し希臘を利用して伊太利を壓迫しつゝあり佛國の唯一の友邦は米國なり』(巴里發)

●波蘭軍露軍を擊破

波蘭軍はブレストリトフスク地方に於て露軍に對して攻勢を試み露兵三千三百名を捕獲せり(ワルソー發)

▲波蘭對露講和條約決定す

波蘭政府はリガ對露講和會議に提出すべき講和條約を脫稿せり但し內容は秘密に附せらる(同上)

●露過激派英紙に資金供給

露國過激派政府より資金の供給を受けつゝありとの風說を生みたる英國勞働の機關新聞なる倫敦ヘラルドは露國過激派より七万五千磅を寄與せられたる旨發表し讀者に之れが處分策の暗示を求めたり(倫敦發)

●伊太利再び地震死傷多し

北伊太利エミリア地方に八日再び大地震あり死者約五百名負傷者約三千名住居を失ひたるもの一萬乃至一万五千名に及びたり(羅馬發)

●饑餓市長食養强迫

倫敦ブリクストン監獄醫は同監獄にて絕食中の愛蘭コーク市 [illegible]

日本の米人宣教師

―風變りな米國雜誌の宣教師論―

―宣教師の朝鮮暴動煽動を非難―

米國のラシオナリストの一團は「トルース・シーカー」と稱する週刊雜誌を出して現代の基督教を非難攻擊して居る、彼等は現代の所謂基督教を攻擊して居るが、

▲基督教自身 に就ては殆んど何も言はぬ、「トルース・シーカー」の最近號に「日本に於ける宣教師」と題するアーチクルがある、そのアーチクルの要領を單に參考として左に紹介する、米國にも毛色の變つた意見を吐く人があることを紹介する迄である、『最近の聯合通信

▲東京電報に 依れば東京の國民新聞は「米人は日本國民間に不忠の精神を鼓吹し朝鮮に於ける米人宣教師は基督教を看板として朝鮮に於て反日を煽動して居る、米國は日本の教育家、思想家、實業家等を利用して危險思想を

▲日本に宣傳 し日本の軍規を破壞し日本青年間に徴兵忌避を鼓吹しつゝある、米國は戰後大層傲慢となり自惚れが强くなり自ら世界の大親分を氣取つて居る」との論文を揭げた、吾人は以上の所論の全部を信ずる譯にゆかぬが、朝鮮に於ける

▲米人宣教師 が朝鮮に於て暴動を煽動し反日主義を鼓吹し日本に對してトラブルを製造して居るとは事實である、朝鮮に於ける米人宣教師の多くは長老教會派である彼等長老教會派の宣教師は朝鮮人道義を紊し

▲暴動を煽動 して數名の拘引者を出し、米國政府に釋放運動を嘆願した、國際情勢に注意しつゝある人士は日本と米國との關係が目下緊張して居ることを知るであらう、日本人は日米國交の緊張を否定し日本は米國に對して深厚なる

▲友誼を有す ると云つて居る、以上の如き日本人の態度は日米間の緊張を緩和するであらう、由來基督教宣教師が派遣せられたる國々に於て住民を煽動し其國の政府に對してトラブルを起したり其地方の在來の宗教をけなしつゝあることは

▲否定すべか らざる事實である、宣教師の多くは傲慢である、之れ現代の基督教宣教師の多くが眞の德義を解せざる證據の一つである、宣教師が派遣せられたる國の在來の宗教を全然否定して之れを破壞せんとすることは好ましからぬ現象である。

▲在來の宗教 を攻擊せずに單に基督の教を宣傳すればよいではないか、吾人から見れば佛教や回々教等は基督教が宗教であるが如く立派な宗教である、吾人から見れば佛教の道德と基督教の道德とは根本に於て相似て居る、基督教の根本は基督教より

▲數百年前に も唱道せられた佛教に由來する、朝鮮に於ける米人宣教師は基督教を利用して反日主義を鼓吹し米國と親善的關係ある日本に重大なるトラブルを與へつゝある、日本政府は明治維新開國以來未だ嘗て米人宣教師を迫害したことがない、日本は

▲信仰の自由 を認めて居る、日本政府及び國民が米國に對して深厚なる友情を有し且つ米人宣教師の基督教宣傳の自由を保障し之れに少しも干涉しないのであるから朝鮮に於ける米人宣教師は大に愼しまねばならぬ。」

●勞働界諸報

△伊國紛爭解決乎

先週伊太利全國十大都市の金屬工場四百を占領せる勞働諸團體と工場主側との交涉は圓滿に進行しつゝあり一兩日中に解決せられん伊太利首相チオリツチ氏は土曜日羅馬を出發し佛國エークスルベーンにて佛國首相ミルラン氏と會見し重要會議を試むる筈なるが工場占領事件解決 [illegible]

●獨逸系米人コツクス援助

伯林に滯在中のボストン市民エドワード・フイニーン氏は今月中に歸國し獨逸系統米人をして民主黨大統領候補コツクス氏に投票せしむべく努力する筈なり獨逸は國際聯盟に熱心に參加せんとすコツクス氏は國際聯盟參加を主張す故に獨逸系統米人有權者の多くはコツクス氏に投票せん(伯林發)

●ハーデング氏遊說を中止

共和黨大統領候補ハーデング氏は九日夜オハヨー州マリオン市の自宅に歸れり同氏は今月末迄自邸に留まりフロントポーチ演說をなし來月東部地方に遊說を試むる筈(マリオン發)

●コツクス氏共和黨員非難

遊說の途スポケーンに立寄りたる民主黨大統領候補コツクス氏は同市ユニオン停車場前にて演說し共和黨全國委員長ヘース氏が民主黨指摘の共和黨大統領選擧運動費惡用とを否定せるは橫着なりと云ひ腐敗政治屋を投獄せざるべからずと述べたり(スポーケーン發)

米國政戰電報（九月十日聯合通信）

●選擧運動費の調査

議會上院の大統領選擧運動費調査特別委員會は十日引續き選擧運動費問題の聽取をなせり同日共和黨全國委員會は運動費として一昨年十二月一日より本年六月十二日迄に一萬八千五百十五名より百八十三萬五千餘弗を集めたる旨說明せり(市俄古發)

●聯合列强通信會議の準備

英、佛、日、伊、米五ケ國の代表者は來る十月八日華府に會合し來るべき國際通信會議の召集期及び提議を決定する筈なりと

ワシントン電報（九月十日聯合通信）

●南米兩强紛爭解決

秘露共和國は一八七九年より一八八三年に亘れる智利共和國との戰亂の際智利に奪はれ今日迄右兩國間の紛爭の主なる原因たりしタクナ、アリカ兩州を六百萬磅を提供して回復するに決定し智利は之れを承諾せり

▲附記――タクナアリカ兩州は秘露と智利との紛爭の種たりしのみならず海口を有せざるボリヴイア共和國がアリカ港を獲得せんとせる爲めボリヴイアと智利との紛爭地なりき

▲ダブリン勞働者示威運動

[illegible] 十數名は危篤なり(ダブリン發)

▲米坑夫增銀否定

[illegible] ア州炭坑夫組合は賃金率再考の爲めの第二回代表者會議の召集を大統領に請願せるが大統領は之れを拒絕せり(華府發)

▲米鐵道勞働歡喜

米國鐵道勞働同盟は前議會に勞働者側に不利益なる例のエッシカミンダス鐵道案を提出せるウイスコンシン州選出下院議員エッシ氏が再選運動を試みたるが豫選にて失敗せりとの報知に接し歡喜せり(華府發)

●英國前獨船賣却

英國政府は獨逸より沒收せるイムペラトル號、カイゼリン號、プリンツ・フリードリヒ・ヴイルヘルム號の如き巨船外約卅七隻の前獨船總噸數四十萬噸を賣却し之れを獨逸の對英賠償の一部に充當する旨公告せり(倫敦發)

●前獨巨船を放棄

戰前ハムブルグ・アメリカン會社航路に屬し太西洋上の最大巨船なりしフアターランド號即ち現在のレヴイアサン號は先日紐育對岸ホボケンの埠頭の泥地に半沈沒せるが之れを引上げて修繕するに多額の費用を要するが故に放棄さるべしと(華府發)

●伊太利廢兵銀行

伊太利政府は廢兵を始めとし歐洲戰亂に參加せる軍人及び戰死軍人遺族に經濟上の便宜を與ふるを目的とする特種の銀行を設立し伊太利王は之れを援助せんが爲めに之れに資金を供給せり(羅馬發)

●坐礁米艦を救助

米國海軍省は波爾的沿岸リボー港外三哩に於て坐礁せる米國裝甲巡洋艦救助の爲めにフレデリツク號にリボー急行の命令を發したりと(華府發)

THE SUMITOMO BANK, LTD. (COMMERCIAL)
315-319 California St., San Francisco, Calif.
株式會社住友銀行　社長 男爵 住友吉左衛門
營業種類 本國定期預金 本國特別小口當座預金 本國通知預金
鄉里送金、送金手形(無手數料) 外國爲替手形賣買、取立、信用狀發行、貸附其他
支店 日本內地及海外樞要の處に三十六ケ所あり
桑港支店 桑港カリホルニア街三一五―三一九
御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

奇人變人錄　淚六先生著
淚六のものは何もかも面白いものばかり、本書は版を重ねること五度八軒長屋の人氣者熊さんを筆頭に新俳優の馬の脚むれの免許の色男かうした變者ばかりが甘く書いてゐる讀んで御覧！面白いく（一弗八十仙）

ダンテ神曲　全三冊　各冊三弗五十仙
天國篇は靈魂の榮光赫々たる凱旋歌で、ダンテは本篇に依つて藝術、智力、道德、宗教上、凡ゆる方面に生きて居る地獄篇は古典と歷史と哲學と政治とを渾融包容せる藝術の一大繪卷物である、本篇にて著者は人類に眞の悔悟を教ふ煉獄篇は人間意志の酷烈莊美なる英雄的戰鬪詩で、其道德的思想に崇高にして、藝術に又華麗を極めてゐる

北米の五車堂　1698 Post St., S. F. Cal.

日本行汽船切符御申込に應ず
日本御料理 小川ホテル　桑港カリホルニア街六一二　電話カーネー一八一六

帝國ホテル　桑港パイン街五五一　551 Pine St., S. F. Cal.　ガーフイルド二一八一
日本行汽船切符販賣

みかどホテル　羅府東第一街三三一半　331½ E. First St. Los Angeles, Cal.　日本行汽船切符取扱(電話)一一七〇四

最新刊紹介
河上博士　近世經濟思想史論　一、五〇
大谷光瑞　大勢逆行　五〇
井箆節三　ユートピア物語　二、五〇
巖谷小波　我が五十年　一、六〇
細貝正邦　戰の跡を探ねて　一、八〇
大庭柯公　世を拗ねて　一、九〇
釋宗演　心の眼を開け　一、八〇
水島伏世　外國貿易事務研究　二、二〇
池田商學士　株式會社の裏面　一、二〇
朝日新聞社　大正九年運動年鑑　六〇
有島武郎　惜みなく愛を奪ふ　一、三〇
碧瑠璃園　栗山大膳　二、五〇
佐藤紅綠　紅椿　二、五〇
長田幹彥　薄命の花　一、九〇
よろづ商店　1300-4th St., Sacramento, California

同文館發行　工業大辭典　索引共全五卷　金一百弗
ダイヤモンド社編　全國株主要覽　金十五弗
青木大成堂　1601 Geary St., Tel. West 5361 San Francisco, Cal.

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.
415-429 Sansome St., San Francisco, Cal.
P. O. Box 3125　Tel. Kearny 1396
橫濱正金銀行 桑港支店
資本金一億圓　積立金四千四百萬圓
預金總額五億一千六百萬圓
外國爲替預金送金貸附割引等一般銀行業務一切
鄉里送金 日本全國何レノ地ヘモ無手數料 最近便ニテ發送
本店預金 通知 日歩一錢五厘 定期 六ケ月以上三ケ年迄 利息年六分五厘以下 特別 十ケ年迄(重利) 利息年六分五厘以下
支店預金 定期 六ケ月 年三分 一ケ年 年四分 保護(無利息)

CAL. STATE LIBRARY, SACRAMENTO, CAL.

米投機商と耕作者と卸商が 三つ巴で大立廻り

▲相場を引下げ様とする商人 市價を上んとする耕作者▼

■耕作者會合＝持久戰の準備に入る

加州米の相場だけは丸で見當付かず商人も耕作者も一様に暗中模索を爲しつゝある有様なるが其の間にあり米投機商が飛躍して勝手に値段を決め先物に對し相場を昨日の如きは十月十一月渡し白米

▼五弗七十五仙 を發表し居れども玖馬が輸入禁止となり歐洲が爲替相場の關係上加州米を購入せざる可く南米中米諸方面は既に出荷を見たるテキサス州ルイジアナ州物の供給に依り充分となり茲暫らくは外國よりの需要なく從つて加州新米出荷期には一層の

▼下落を見ん との豫想より買手が付かざる有様なりと今假りに白米五弗七十五仙とすれば籾米百封度が精米して五十四封度の白米になると假定し籾の價格一封度三仙と見て先づ一袋五弗五十五仙の値段に付く譯けなり從つて今日の先物相場は恐らく籾三仙位の

▼見越見當に て決め居るものと見て差支へなからん然るに一方耕作者側は勞働賃銀も高くなり其の他の諸經費が嵩み居る關係上一封度四仙以下に賣りては到底引合はず今日の相場にては損失を招くと云ふ見解よりして此の際一般耕作者保護の爲め五仙以下には賣らざる申合せを爲さんとしつゝあり來る日曜日此等の

▼耕作者が會 合を催し組合を組織し其の申合せを強硬にし場合に依り耕作者の金融上手放さざる可からざる境遇にある者に對しては組合が五仙以上の相場にて買取る方法を講じ又た出來得べくんば組合保證の下に銀行より資金の融通を乞ひ市價引上げ迄で作物を

▼維持する法 針を建て投機商精米所商人に對し持久戰を爲さんと劃策する由尚は精米所も價格の引下げに腐心しつゝあるものゝ如し一方商人にして既に米會社に投資したるもの又は高價なる米を買入れたるものは引上げんとあらゆる方法を講じて一方今後

▼購入せんと する者は引下げんと買入れを手控に爲しつゝあり或る商人の如きは一時七弗もせしアニオンの如きは需要なき爲め四十五仙に下落したる事實あり又た値段が如何に下落してもピンズの如く買手無く今日尚は三年前の品を所持し居る者さへある

▼始末なれば 假へ米耕作者が賣らずに所持して居ても買手がなければ金利倉敷で損をする一方であると米の下落を樂觀豫想し居れり尚は今年度の加州米作に就て目下出桑中のコルサ米作者の談に依れば蒔き附け當時降雨あり準備遲れたる爲め及び水問題の爲め

▼例年より約 一ヶ月收穫が遲れ十月初めより刈り入れを初め十一月ならでは出荷出來ざる可く作柄は七分作收穫期の雨と値段の點が問題にて耕作者も尠なからず神經を惱まし居ると云ふが茲暫くは加州米を中心に三つ巴に大立廻りがある事ならんと

尼港より

八月五日軍艦鞍馬にて　東孤竹

山中學兄足下

尼港に上陸して第一に驚嘆したるは過激派の破壞力の偉大にして飽くまで徹底的に且つ組織的なるにあり五百以上の堂々たる煉瓦建築の大厦高樓が見る影もなく一様に破碎燒灰に歸して殘るは柱とペーチカの黑き影のみ、一望荒涼たる曠野の如き觀あり。人口一万五千中虐殺されたる良民少なくも七千以上にして、路傍に父はと問へば「アムール」と答へ母はと問へば「アムール」と應ふる兒女の無心に遊べるは悲憤の種にして、彼等は三界に頼るべなき孤兒となり、幼な心にも父母がアムールに投じて殺されたるを知れるなり現在する人口僅かに六百のみ、然かも多くは豚小屋の如き軒頭に雨露を凌ぎ居るなり、此冬日本軍去らば果して如何にするか、眞に人生悲慘の極みにあらずや。日中九十度位なるも朝夕は七十度位にして夜は午前三時半にほのぼのと白明す。明日問題の支那砲艦をマゴ港に訪ふべし

■千葡萄會社長 聲明書發表

▼法律に違反せず ▼道德的には正當

加州聯合乾葡萄會社がトラスト法違反の嫌疑にて合衆國檢事總長パーマー氏の爲め羅府合衆國裁判所に起訴せられ社長以下役員の取調べある由は昨紙所報の如くなるが是に關し當面の責任者レーズン會社長ギッフン氏は

▲フレスノ市 にて聲明書を發して曰く吾等は曾て法律に違反せしとありと信じ能はず又た道德的には吾等の行動は絕對的に正當なりと思考するが故に飽迄其正邪を法廷に爭はんとす避くるに途なくして本訴訟の提起せられしものとせば吾等は其形式が

▲當局に採用 せられし方法となりて現はれしを喜ぶ如何となれば吾等は其處に本事件の眞相を明かにして是非曲直を爭ふ可能性を見るが故也起訴理由を考察するに何等組合公定價格パッカーとの契約、價格保證に關する疑問あるにあらず結局合衆國農業家が其

▲生產物販賣 の爲めに共同して組合を組織するの權利ありや否やの問題解決なり吾等は農業家に其權利ありと確信するのみならず農產物共同販賣は加州現在の最大理想にして今後の州發展上最も重要なる意義を有す、此大理想に鼓舞せらるゝ吾等は

▲本訴訟より 來る一時の不便の如きは物ともせず耕作者に委任せられし責任を完全に遂行せんが爲めに最後迄奮鬪せんとす

●各國共に 原料不足に苦む

▲米國實業家視察談

東洋方面及び歐羅巴の產業狀態を視察して歸紐したる米國西部電氣會社材料買込主任ウイリアム・バンカー氏の視察談に依れば東洋歐洲共に勞働狀態の不安及び資本不正の關係にて生產非常に減少し居るが殊に原料品の不足英國の石炭缺乏等は尠からず打擊らしく原料品を外國より仰ぐどころの話にあらずと

●船あつて船員が足らぬ米國

▲船舶局は高等船員養成に＝殆ど全力を傾注して居る▼

■三年に一万三千名＝粗製濫造は當然

英米兩國では海運界の發達に連れ船舶は增加するけれども船員が容易に得られず且つ勞働賃銀が騰る一方なので人を減少する意味で石炭燃用の機關を燃油使用に改造し一船にて數十名多きは百餘名の火夫を減じつゝある傾向を示して居る殊に

▲戰爭以 來俄かに船舶が增加し下級海員はあつても高等海員を得る事が出來なかつた米國船舶局では船があつて人足らぬ船丘に登るの奇現象を示さんとしたので大慌てに慌てゝ高等海員の養成に努めた何んでも華府電報に依つて傳へられた處では米國船舶局は

▲過去三 年間に如何にして養成したか一萬三千名の海員を養成し其の七割五分は目下商船に乘込んで居ると云ふ事で此れ等の海員は沙港桑港の商船學校で敎育され太西洋岸を航海して居る貨物千二百噸積實習生二百名乘船出來る四隻の練習木船と太平洋岸

▲方面で は貨物千八百噸積練習生百十五名乘組の木船一隻千八百噸の鐵船にて沙港桑港布哇間の航海をするものを以て實習したのである然るに船舶局では益々新造船の完成と共に人員の不足を感じて來たので更に新練習船として新式鐵船を太西洋方面に

▲四隻と 太平洋岸に二隻增加し一航海約六十日位にて實習せしめ一年を四期に別ち學科及び實地敎育を施す事にした將來は年限を四年位にして理想的海員を養成すると號して居る之れを日本商船學校の四年制度即ち二年は學科後の一年は帆船一年は汽船に乘込み

▲實地研 究するのに比較すれば粗製濫造は免れず最近日本に赴く米國船舶局船の船長が港を間違へて入港したり衝突をしたりするのも無理もない譯けだ尚は日本の商船學校は開校以來何十年になるか知らぬが昨年迄で僅か二千二十人しか卒業生即ち高等海員を出て居ないのを見ても日米海員の品質が解るのだと云ふ

●加州柑橘出荷 八千萬弗

▲本年度收穫期終る

加州から本年出荷した柑橘類の果實は總計四萬六千七百五十七貨車に及んだ其價格は八千百二十萬弗と云ふ篦棒な額に達して居るが此のシーズンが丁度了つたと加州果物栽培者エキスチェンヂの總支配人ボール氏が昨日發表したと羅府電報に見ゆ尚本年は一般にオレンヂ其他が好値でオレンヂの如き昨今八弗臺もする有様だと

●南米貨物皆無

▲東瀛船の大打擊

南米よりの荷物は智利硝石のみにて外に何も無かりしが該硝石も近頃は日本が在荷過剩となりたる爲め出荷なく今便の靜養丸の如きも貨物皆無の姿にて入港當地より七百噸の鐵材をポートランドより多少の材木鑛石を積込み漸く船腹を滿たし得るに過ぎずと從つて今後南米航路線に對し何んとか更に方法を考ふる必要あらんと

●除虫菊粉不況

取引なく下落 昨年度三百三十萬圓以上外國に輸出せられし日本產除虫菊粉も今年は外國よりの註文無く生產者側にては不況を見越して生產制限を申合はせても實行する所とならず現在の狀態にては價格を引下て販賣せんとしつゝあり

■日本の米價暴落

▲正金に昨日入電

當地横濱正金銀行支店に昨日日本より入電あり『米價は大暴落し棉糸市場悲況生絲は政府の救濟に依り漸次回復しつゝあり』と報じ來れりと

●愛蘭土婦人の 罷業宣傳

▲英船への積荷拒絕

愛蘭土市長問題に就て一昨日より示威運動を開始したる桑港の愛蘭土婦人協會員は其の後引續き棧橋に於て種々の文字を現はしたる標幟を携へて熱心に宣傳運動を爲し昨日は

▼一二十五號 棧橋に赴き同所に繫留七日より積荷を開始し十八日倫敦に出帆す可き豫定の英國船クロム、オブ、ガリシヤ號(三千百噸)に米國品の積込みを爲さざる様棧橋人夫の同情的同盟罷業を爲さしめつゝありと

●棉花は出ず 生絲は來ぬ

▲貿易差額に無影響

日米兩國貿易品の主なるものなりし棉花は日本の綿糸市場不振の爲め例年上半期に多量出荷あるに拘らず今年は少しも出ず日本で先物契約を破棄する有様なるが同様に日本より下半期に米國へ出る生絲が暴落したる爲め米國に來らざ結局貿易差額の點には何等影響なけれども之れが爲めに日米の積極的貿易が不振となる譯なりと

●千百弗の詐欺犯人

▲上院議員の親族と

アルカンサス州パインブラフ警察からの依頼に依り三週間前桑港警察の手で捕縛された詐欺犯人グローバーと呼ぶ男を受取りに來桑したジェリフの說明した處に依ると右グローバーは過日桑港で開催された民主黨大會議長上院議員ロビンソン氏の親族で同州大學を卒業し商業に從事中千百弗を他人から詐僞逃亡したのだと云ふ

●食料品多少動く

▲米は變り無し

今日迄殆んど動かざりし日本食料品最近に至りて多少動き初めたるは地方が農繁期にてボーイが入り込みたる今迄買入れ手控中の地方小賣商の手許品薄になりたる結果ならんと尚は米は例年今頃に至れば動かざるが今年も昨今は殆んど注文なく市場變化なしと

●學生會文學會 學生會にては今十一日(土)午後八時半より文學會を催し佛敎會のカービー氏の講演を乞ふ筈にて會員の外一般の來聽を歡迎すと

●東印度米輸出 東印度ベルマ政府にては今年度に外國輸出を許可する米量を百八十萬噸と決定せりと

◆在留同胞の社會運動と 學生保護の必要 (二)

翁生

予はこの問題を灣東通信の一部として王府欄に掲げて論ずるつもりだつたが編輯の都合上二面に掲載された爲め一般的に論じて灣東の問題として提供してゐるのであるけれど同時に又一般的問題である事は論を待たない

前回にも論じた通り吾々は今日の政治的排日が早晚社會的排日に轉化する事を覺悟せねばならぬ、社會的排日は在米同胞の生活に對する直接の排日である今日は在米同胞其者は問題にされてはゐるが事件は常に間接的である、在米十萬の同胞誰一人がその生活權を奪はれたり害されたり犯されたりしたと言ふ事をきかぬ、併し他日何かの動機に依つてそれらの迫害が來る事を覺悟せねばならぬ、其時期に於ける同胞の代表者若くは代辯者は誰であらうか、即ち米國の敎育を受けて多數の米人學生と交際し米人社會に知己を有する今日の學生であらねばならぬ、然るに彼ら學生は今日在米同胞から如何なる待遇を受けてゐるか灣東數十の中學生中の三分の二は父兄から獨立して自活して通學してゐる者共である、彼らは學僕生活者であると彼らの燃ゆるが如き胸中には未來の青雲が描かれてゐる、彼等は實に純なる理想の空を仰いで現實の勞苦に堪へてゐるのだ、中には無意識に通學してゐる者もあらうけれど彼等の前途は人生のあらゆる輝きに滿たされてゐるのである、而かも彼等は今日の排日的空氣の間に漂泊しながら一旦自分が日本人であるといふ意識を感ずる時に兒ばしい一種の感情を生ずるに違ひない、彼等は多數の米人學生がその完備された社會の中に米國人らしい生活を、然かも青年らしく送つてゐるに反して自分が日本人である爲めに、常に寄る處なき生活の渦中に投せられてゐる自分を淋しく感じてゐるであらう、米人社會は、今日政治的排日の暴風吹き荒んでゐる只中から、それらの學生を一種の妙な眼付きで眺めてゐるだらう、さうして彼等の通學する中途で退學するものもあらう、或者はそれらの壓迫に堪へかねて中途で退學するだらう、彼らの通學其者が既に一種の人種的爭鬪なんだ、然かも邦人學生はあらゆる無形の壓迫を米人の眼から口から受けてゐる。彼らは歸つて自らを容れるホームをもたない、所謂日本人社會のこの働けば高い賃銀のとれる時代にぶらぶら學校へなど行つてると云はぬばかりの眼つきを以て彼らを見てる

■要求欄■

人事

●ブックキーパー 至急入用 イーグル米作會社 ゲリー街一六〇四 中村洋服店

夫婦入用 女メード 男ガーデナ 電話ウエスト一七三一 ラグナ街一六一三 田村桂庵

簡單なる速記書記ハウスワークする人を求む 委細面談高給を支拂ふ サンノセ市北五街五六五 中嶋精神漢法施術所

スクールボーイ一名入用 ポスト街 名古屋ホテル

洗濯職人 アイロン師一名入用夫婦にても宜し高給を支拂ふ委細面談 313 L St. Sacramento, Cal. 櫻府東洋ランドリー

刺繡 婦人募集 金モール、ドレス、ラスト仕事澤山あります經驗ある人を欲し ブッシュ街二〇八八 電フィルモア三三一八 高羽刺繡所

●菓子職工 二名至急入用 二名及び見習募集 給料其他御面談を乞ふ ドライバー一名 カウンター一名 ポスト街一六七〇 合同菓子店

アイロン師一名入用 熟練なる人を欲し高給を支拂ふ委細面談 2034 Addison St. Berkeley, Cal. 日本洗濯所

ホーム洗染會社 ドライバー一名 クリーニング方一名 無經驗にてもよろし 電話バークレー二四四六 2104 Vine St. Berkeley

夫婦者入用 委細面談 電話パシフィック二六二四 公園茶屋

求働契約者 オリーブ摘採 勞働契約者を欲し委細 F.E. Mason, Fair Oaks, Cal. 又は Natomas Nimbus Ranch

職工入用 アイロン師洗濯物働き夫婦者にても至急入用高給を支拂ふ 王府テレグラフ街二二四二 電話王府二九〇八 テレグラフ洗濯所

アイロン一名入用 高給を支拂ふ ウエブスター街一五五五 サンライス洗濯所

洗職工二名至急入用 アイロン方 高給を支拂ふ委細面談 電話パーク九〇七 Starlight Laundry 750 Stanyan St. S.F.

刺繡 婦人募集、大糸小糸何れも澤山あり無經驗の方にても無料で敎授す ウエブスター街一五五二 電話フィルモア三三二八 ウエスター刺繡所

教員招聘 幹事兼補習の敎授を爲し得る男子の方希望者は履歷書を添へて御申込み乞ふ キングス郡兒童敎育會 P.O. Box 443 Hanford Calif.

洗濯職工 アイロン師二名至急入用 給料は百弗以上百廿五弗支拂ふ夫婦者にても宜し 詳細は下記へ P.O.B. 206 Ely, Nev. Ely Laundry

●店員 二名至急入用 委細面談又は書面にて 218 S. El Dorado St. Stockton, Calif. 長谷川商店

職工入用 アイロン職工二名至急入用 高給を支拂ふ委細 王府第二十六街三六二一番 電話王府九一三一 富士山洗濯所

求刺繡者 熟練の方婦人ウエスト見本携帶御申込み乞ふ メーベル店 ラーキン街七三一

洗場 洗場助手アイロン師婦人各一名入用經驗の有無を問はず メーク街五二九 電フランクリン一八四〇 マーキュリー洗濯所

●婦人 數名入用 手先仕事で賴み出來ろ 休日あり 委細御來社間合せを乞ふ 日米新聞社營業部

■物件■

貸地 ワツソンビル七哩五十英畝 苺耕作に適す家屋あり信用すべき人に貸したし 日米新聞社營業部ホワイト宛申込あれ

洋食店 讓渡したし、場所よし、收入確實、委細は面談 王府第二十二街六八八 小山儀三郎

洗濯所賣たし 近代的設備ある洗濯所にして一週間の收入 至急賣たし委細は左記に照會を乞ふ 1831 Irving Ave. Oakland, Calif.

古本高價買入 如何なる書類にても御一報次第御送金致升 文明堂書店 1235 N. San Pedro St. L.A. Calif.

住宅讓 主人歸國の爲家具一切附にて至急安價讓るレント安し 717 Pacific St. Tel. Garfield 1589

琴 買求たし委細は通信にて ラグナ街一六〇八 都留會

■尋ね人■ 渡邊學(愛媛縣人)氏に告ぐ 至急御通知乞ふ 秋山法一 R.F.T. Box 79, C. Elk Grove
山口縣柳井町 鹿田卯之介 是非面談したし 桑港防長旅館まで來られ度し 實兄 鹿田濃一

精肉切賣 並に すき燒 ブキャナン街一五九 電話ウエスト一六一二 博多屋

婦人帽子 特別勉強 上等 フィルモア街一六四〇 ポストとゲリーの間 (夜間營業) ローズ帽子店

ポスト街一五八〇 自動車修繕所 電話ウエスト一八八 太田 山崎

森山寫眞館 桑港サター街一七九七

水晶印形 甲州堂 1311 Eddy St. San Francisco, Cal.

今般 Flynn & Collins 會社エストコースト供給組合販賣フォード自動車並にフォード用ハッスラー氏振動吸收器日本人部販賣主任を特約致し候間何卒御愛顧御用命願上候 操縱法懇切敎授 大久保

御祝御佛事用 長崎名物カステラ特製 御菓子司 花月堂 1862 Pine St. Tel. Fillmore 3264

第三回北米母國訪問團 ▲乘船菱東大阪商船アフリカ丸 ▲シアトル出發十月十五日 ▲詳細は申込次第規則書發送 シアトル南五街二百十六 責任者 宮崎德之助 T. Miyasaki, 216-5th Ave So. Seattle

かまぼこ 製造御小賣 特に御贈答品は御注文次第調製 並に鮮魚食料品一切 桑港グリー街一五二九 電話ウエスト四三七九 金門商會

輸出入業 ブローカー業 主任者は日本語に精通 National Products Co. 519 Calif. St. San Francisco. 電話サター一八三三

進物用鑵入茶 相馬山 千代の友 寒梅 花香 最上 大走新茶 相馬自園 富士自園 好老松 花の白 王冠 [illegible] SOMA TEA STORE 232-234 E. First St. L.A. Cal. Phone 63198 相馬茶店

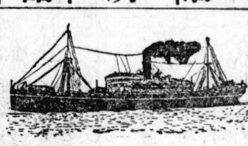
東洋汽船株式會社

船名	發	日本行
天洋丸	九月十日	九月十八日 波止場卅四番
静洋丸	九月十一日	同 一壹番
	九月十八日ポートランド出帆日本行	
春洋丸	十月四日	十月十四日
安洋丸	十月十八日	十月廿三日 南米行
ペルシャ丸	十月十六日	十月十九日
さいべりや丸	十月九日	十一月五日
これや丸	十月廿七日	十一月十九日
天洋丸	十一月廿四日	十二月三日

マーケット街六二五 電話サター三九〇〇

シアトル出帆廣告

船名	日	時
鹿島丸	十月九日	午前十時
伏見丸	十月廿七日	午前十時
香取丸	十一月十九日	午前十時
諏訪丸	十二月十日	午前十時



日本郵船株式會社 シアトル支店 409 Colman Bldg. Seattle, Wash.

觀光團員募集 山口屋旅館 通知次第趣意書送呈 東洋觀光團員出國稅免除特典此際申込あれ 十一月十九日サイベリヤ丸桑港出帆東洋觀光團、渡船切符取次 37 Jackson St. San Francisco, Calif. Tel. Kearny 2487

觀光團員募集 日本ホテル 御通知次第趣意書送呈可仕候 館主 片岡一郎 電話ウエスト五二一五 1551 Laguna St. San Francisco, Calif.

觀光團員募集 安藝ホテル 高田条吉 1651 Post St. S.F. Tel. West 6211

觀光團員募集 北米旅館 御通知次第趣意書贈呈 日本行汽船切符取扱 館主 田村信吉 電話ウエスト二九一六 1570 Buchanan St. S.F. Cal.

田村旅館 日本行汽船切符代理取扱 電話ガーフィルド一二九六 440 Pacific St. S.F. Calif.

迎妻者の福音 來る十一月十九日サイベリア丸第七回東洋觀光團々員に限り出國稅免除の特典可申上候 加入御希望の方は御一報次第趣意書を御送附可申上候 申込所 加州館 館主 中野作太郎

KASHU HOTEL 1019 Stockton St., S.F. Tel. Douglas 3113 Sutter 8667

名醫 紹介並に通譯 藥學士 藥劑士 渡邊啓 大學敎授各専門博士を紹介し懇切に一切の御世話をす 桑港ポスト街一五九四大阪藥店內 電話ウエスト三四七四

移轉廣告 今般業務擴張の爲左記に移轉致し御披露の爲當分割引にて差上可申候間何卒倍舊御引立御愛顧の程奉願上候 桑港ポスト街一六〇一 電話ウエスト五九七七 大正藥舖

醫者と病人 専門通譯 注意 出張病院 ◎◎レーン病院(醫科大學病院 各科専門) チルドレン病院(子供専門の醫者) 患者諸君の希望により或は右の外の何れの病院又は如何なる醫者をも隨意夫々各専門名醫を紹介、通譯をなし懇切に一切の世話をなす(當事務所には自動車あり非常に便利なり) 鈴木事務所 K.S. Suzuki's Office 1731 Buchanan St. S.F. Calif 桑港ブキャナン街一七三一

◇日米兩國の妥協
▼何か出來さうなものだ
◇次の國際聯盟總會に支那が又青島問題を擔出すかも知れぬ◇
米國を研究＝鈴木大使館書記官談

大使館一等書記官鈴木要太郎氏は米國在勤を命ぜられ華盛頓に赴任の途、昨日入港の天洋丸で來桑したが其談に曰く『私は支那に十數年間居た

▼間島や　遼陽地方の領事を勤めてゐたが大使館勤務は今回が始じめてで且つ米國へは最初の赴任である、華盛頓に參り廣田書記官の事務を引繼ぐことになつて居るこんな次第であるから米國の事情には疎く何も存せぬが之れから研究して見る考へである最近日米問題が大分喧しくなつたが

▼故國で　も大分緊張してゐたやうであつた、併し大したものでも無く何れも困つたものだと云つてゐる位で米國邊りで考へる程のものでもなかつた幣原大使が米國と何か非公式に交渉して居るやうな事を船上で聞いたが日本を出る時は知らなかつたが或は何かあつたかも知れぬ何分にも

▼外務省　には一寸腰掛的に勤めてゐたので詳細は訊かなかつた非公式に日米兩國が日米問題解決の爲め何か遣つてゐるかも知れないが私は全く知らない加州の排日問題に就ても私は全く知らないが何か兩國間に妥協の出來さうなものだと思つてゐる日米親善の爲めに何とか適當に解決したいものだ

▼西比利　問題も最近漸次米國の了解を得て來たやうである、昨年の暮まで私は支那にゐたが支那にも排日が常に行はれて居る、米國の對支政策に就て世間では何か云ふやうだが世の中が云ふやうには猛烈に遣つて居ない、今後も正當の道を踏んで遣つて行くであらう、青島還附問題も大分

▼支那人　に騷がれたがこれは既に日本が幾度も聲明して居るし最早や之れ以上の説明を要せない事であるが來る十一月には瑞西のゼネーブに於て開かれる國際聯盟總會には支那側から又候青島還附問題を擔ぎ出すかも知れない、何うせものにはなり相もないが支那としては夫れをせぬとも

▼輿論が　六ケ敷いから止むなく擔ぎ出すことになるかも知れぬ、ヴエルサイユーの會議では米國が參加してゐたが今度は米國は國際聯盟に參加してゐないから正式には代表者を出席せしめるとか出來ぬ事情にある譯、日本側からは石井駐佛大使、林駐英大使それから目賀田男等が

▼帝國を　代表して出席することになつて居る、私は二三日桑港に滯在し少しは加州を研究して見たい、何分にも米國に不勝手なものであるから諸君の同情と後援を得たい』云々同氏は早稻田大學出身の好外交官として知られてゐる

●七將校の灣東見物
▲ビ飛行場で試乘

春日乘組將校中富畑、土方兩中尉、小西、佐々木、二見、緒方及宮崎五少尉は昨日午前十時王府に赴きビユートランド飛行學校を訪問、同所にて曾て日本陸軍飛行教官たりしキヤプテン▼デカルト氏　に面會し同氏の厚意にて七將校を代る〳〵五分宛同乘飛行せしめたるが一行は非常に滿足せり、猶は王府日會は一行來王の報に接するや直ちに役員及有志諸氏の奔走にて一行を美洲樓に招待して午餐を共にし夫れより自動車にて加州大學よりスカイライン、ヴルバードの

▼方面を觀光　せしめたるが一行は午後五時歸艦したりと（王府支社電話）

◇奇怪な噂＝水兵上陸問題
▼加州の排日を種に故國人士を瞞着せんとする一派の窮策か▲
―在留同胞の意志を無視して―

國際的使命を果たして遠路の航海を終り母國に歸航途中桑港に寄港した帝國軍艦春日の乘組員上陸問題に就いては巷間甚だ奇怪な風説が行はれてゐる、それは同艦が尚ほ東部沿岸に在る時

▼華府の　大使館から加州の排日が烈しいから桑港に寄らずにサンデーゴ港で炭水を補給して直路布哇に行つては何うかと云ふ注意を受けたが軍艦側では既に桑港寄港と豫定してゐるのだから上陸するか否かは着桑後の問題として是非桑港に寄ると主張したさうだ、何故

▼大使館　が斯かる注意を與へたかと云ふ內狀に就いて訊くと果然其の根原は例の慢性排日恐怖症に罹つてゐる某方面から出てゐる樣子で何ういふ底意か知らぬが『桑港に寄港すると必ず排日暴動が起るから』と云ふやうな意味の電報を大使館に飛ばして極力

▼春日艦　の寄港を止めさせようと努めたもの事、のみならず一咋日のアドミツシヨンデーに擧行された大行列を排日行列だと云ひ觸らし乘組員間に盛んなプロパガンダを行つてゐるとも云ふ說もある、其處で愈々其の手品の種を破つて見るに例の一派が

▼加州の　排日騷ぎを何故斯くの如く誇大に吹聽し廻るかと云ふと例の輕卒な寫婚廢止や箆棒な在留同胞引揚げ問題で危く尻を破りかゝつた爲め此際自分等の失策を何處迄も陰蔽する爲めには出來得る限り加州の排日問題を誇張し『帝國軍艦春日の桑港寄港廢止』と云ふ

▼大題目　の事實を作つて日本にも電報を打たし如何に加州の排日騷ぎが『深刻』なるかを紹介して故國人士を瞞着し以て自分達の輕擧妄斷の責任を回避しやうと云ふ魂膽から出たのだとの解釋もあるが乘組員上陸歡迎方法に就て桑日會書記長代理から

▼在日會　に向け同艦着桑前問合はした處が在日會は『水兵連の桑港上陸は差し止める事になつたから從つて歡迎の準備をしなくともよい』と回答し又同艦入港に際し出迎へに行つた神崎氏は日比野少佐が水兵を上陸させると發表した時『乘組員は桑港に

▼上陸し　ないと云ふ諒解の下に慰問袋を募集したのですが……』と二度も述べて暗に上陸に反對する三味線を彈いたが故意か失意か一向少佐に糸が通じなかつたと云ふ點より見るも所謂上陸中止問題が在留民の意嚮を無視し單に太田總領事と在日會丈けで

▼專斷に　決定され然かも軍艦側の强硬なる態度に依つて美事に裏切られたと見ても差支へはあるまい（一記者）

◇外務小移動
條約局長更迭

本日左の發表あり

外務省參事官　山川端夫
任條約局長

條約局長　松田道一
任大使館參事官（佛國在勤被仰付）

◇農商務勅參
任農商務省參事官　望月圭介

望月圭介氏は廣島縣選出の政友會所屬代議士之にて勅參は林外務松田內務と共に三名決定したる譯なり　―（本社東京特電昨夕六時着）―

洋上無線電信
▲天洋丸にて接受

▲政府は來議會に陪審法實施に伴ふ豫算約三千五百萬圓要求せん（東京八月廿九日）
▲十一月十五日ゼネバに開催の聯盟總會に石井駐佛大使日本代表たらん（東京同廿八日）
▲一木喜德郎博士は皇典研究所長に新任
▲駐日支那公使に胡惟德氏任命近く來任せん（以上東京八月廿七日）
▲無線電話局設置確定橫濱にも設置されん（神戸八月廿七日）

●米國歸りをも取締る設備
▲危險思想に就て

故國にては危險思想の取締りに關して從來各地方個々に行はれてゐた結果往々其統一を缺く事あつたので之れが統一を圖る爲め專任機關を設置すべし

▼內務省△　より追加豫算中地方警察特別施設費七萬三千圓を計上して今回臨時議會の協贊を經たので實施されることゝなつた其結果警保局內に警務官二名（奏任）警務官補六名（判任）を設置し內地の危險思想は勿論支那西比利等の接近地及び米國方面より過激思想に捉はれて歸國する如何はしい者等の

▼思想を△　調査し防止に努むる筈で外國よりの分は水上警察に特種の任用があるらしい

◇本日拔錨
▲帝國軍艦春日
＝午後一時出帆の豫定＝

過去四日間桑港に碇泊し在留民とも充分の交歡をなせる帝國軍艦春日は昨日石炭積込を終了し豫定の如く本日午後一時愈々故國を指して出發すべし

●軍艦春日に銀盃を贈呈
▲桑日會より
＝桑港在留民を代表して＝

乘組員上陸問題の手違ひより在留民として帝國海軍々人を歡待し得ざりしを遺憾とせる桑日會は春日艦寄港の紀念として桑港在留民を代表し同艦に對し記念銀盃を贈る事に決定せりと

●田中舘博士渡米期
▲廿日着の鹿島丸で

飛行機學界の耆宿で羅馬字ひろめの熱心な宣傳者として知られた理學博士田中舘愛橘氏は近く渡米することになつてゐるが實は準備が整はなかつた爲め過日沙港に入港した大阪商船のアリゾナ丸に間に合はず延期となつたが遲くも來る廿日同地入港の鹿島丸位にて渡米する筈博士は米國にて飛行機に關する特種調査を爲すと云ふ

公人私人

▲安武貞夫（前朝鮮總督府總務課長）行政事務視察の爲め昨日の天洋丸で渡米
▲立花鑑德（伯爵令嗣）農業視察の爲め同上
▲上田大助（早大理工科敎授）電氣工學研究の爲め同上セントフランシスホテルへ
▲石井國次（學習院敎授）敎育視察の爲め同上
▲今村幸男（住友銀行紐育支店長）天洋丸で歸米
▲湯淺豐太郎（辯護士）令息同伴天洋丸で來桑
▲山口義六（太平洋貿易支配人）商用にて東行一ケ月紐育に滯在の筈

◇天洋丸昨日入港
▲船客は各等合計で六四三名

東洋汽船天洋丸は牧船長指揮下に豫定の如く昨日午後二時桑港に入港同四時第卅四號埠頭に繫留せるが同船は八月廿五日橫濱出帆三日後の海上にて非常なる暴風に會したるが

▼同日以後　は平穩航海を持續し來れりと、重なる積荷は生糸、砂糖其他雜貨にて總噸數二、九九二噸、船客は一等二六八名、二等三四名、三等三四一名合計六四三名內同胞船客は各等合計二二〇名にして其の氏名縣別は左の如し

▲一等　朝倉壯平（岡山）今村幸男、今村さみ、今村幸子（奈良）粟原基（宮城）木村ちよ子（和歌山）森由茂樹（兵庫）西宗茂二（大阪）小出德次（鳥取）玉置チヨ、玉置誠一（和歌山）橫田榮三郎（岡山）湯淺豐太郎、同恭二、石神康（大阪）淺見登郎（群馬）平川新（兵庫）石井國次（茨城）神保政太郎（神奈川）北野虎彥（福岡）木本松太、同苗子（山口）工藤盛勝、同美代（青森）京野順八郎、同カツ、三浦季治（秋田）三宅大輔（京都）中村德次（京都）中村誠（山口）西岡東啓（岡山）中井仲右衞門、同こすみ（以上和歌山）小川千代松（神奈川）小瀧欽次郎（滋賀）岡本兵太郎（大阪）坂野トヨ、同ルビー、同榮諡（東京）黑田アサノ（廣嶋）白石琢一、芝崎路可、同のぶ、同龍藏、下田積（東京）鈴木要太郎（靜岡）谷口ハリ、同キヌ子（鹿兒島）立花鑑德（福岡）玉置誠一郎（和歌山）上田大助（愛媛）安武貞夫（大阪）山根喜美代、同哲郎（島根）天守誠子（東京）玉置誠一（和歌山）藤木惣市（廣島）深町義雄、石野ミキヱ、村上實次（布哇）佐藤長子、同房枝（以上福島）杉田太一、同モヨ、同誠一、同いすゐ（廣島）渡邊こなみ（宮城）吉永なかの、同朝子、同乃武、三章、渡邊濟、杉田ミツヨ、同チヅヲ（宮城）

▲二等　內村三郎（福島）中山八次郎（滋賀）加藤万藏男（愛知）桑原千代子（岡山）田中ミトノ（福岡）江崎キヨ（富山）吉野淺市、同テイ、岡崎誠（廣島）藤川千代子、同初五郎（山口）木番長助、同スミヘヨ、飯沼直夫、同絹（高知）岩政むつみ（山口）

▲三等　谷崎清滿、同みつゑ、西川勇氣（長崎）內田善太郎、同ユイ、山田作治、地島貫（佐賀）松山クヤ、吉村松次、同ヒサ、白石トシ、古庄ナツヱ、士野藤吉、新谷喜久藏、奥村米吉、建石吉藏、奥村クテ、梅本諸平次、同シノブ、島井芳平、境田トク、同スミ、木下カノ、同サヱ、境田桂藏山田アキ、士野セモ枝森ヤス（熊本）熊谷千三郎、山本清十郎、高田武、瀨嶋吉、園田喜六、大塚キヌヱ、山本イツ、稻田市作、同ハツミ、川嶋秀吉、山本千代吉、同タキ、松岡ヒサヨ、同鹿實、森園吉太郎、同ハツ、稻原トミ（福岡）黑川德一、同キミ、新谷玉藏、福本幸次郎、同キメ、荒川ツウ、荒川幸代、荒川シヅ子、前田キミ、藤田岸太郎、加藤成一、馬本菊太郎、馬本喜代子、馬本ミサラ、應治熊治サダ子、宮田シゲノ、應治南美、富田良雄、宮田勉、伊川稔、兒玉粂吉、兒玉あい、村本カトヨ（廣島）津田ツギ（熊本）三好ナミ（愛知）大野柔忍、大野靜枝（福岡）中澤義成（高知）林竹藏（山口）林カメヨ、坪根豊作、同イト、同幸一（山口）宇野以登、江田千代造、檜村慶志、加藤照野（岡山）早山直楠、岩田平左エ門、岡十郎、小川勝市郎、小堀安次郎、坪地長藏、和田キクヱ、坪地イト、稻田由松、同フミ子、中島カネ、同濟子、同市兵衛、井谷岩次郎（和歌山）上村中藏、同スヱ、井手梅雄（熊本）小田トク、山崎ミツヨ、馬屋原イヨ、佐伯ハジメ、土井よカノ、向井トマ、岡崎ミカ、佐伯喜八、岡崎和夫（廣嶋）西川よれ（愛知）岡秀子、同久子（山梨）田中アサ（山口）小林作（滋賀）木下德藏（長崎）板東賢次郎、木下キラ、（長崎）楢原和作、同ハセ（福岡）井上忠一、池田昇、窪田源之丞（鹿兒島）齋藤清（宮城）杉本治一（三重）三上セン、同米子（福島）重田欣二、同のふ（長野）

●二つの食料品卸商組合
▲更に新たに組合が生れた
＝積立金問題で舊組合と不調に了る
◇二個組合對立は消費者の利益

桑港の食料品雜貨卸商組合對非組合卸商問題に就ては既にも報じた所であるが非組合側は一昨日夜小川ホテルに於て會合を催し七軒の商店代表者が

▲協議の結果　從前よりの組合に加盟せず新に『桑港日本食料雜貨卸商組合』なるものを組織した事務所を當分の間サンソム街四四四共同消費會社內に設け別に役員を設けずに月番幹事（二ケ月交代）を以て事務を取扱はしめるが今月の幹事として神川商店が選ばれた積立金を徵集せずに

▲會費として　當分月十弗宛徵集する規定であると云ふが其創立の肝煎の某氏の談に『何も從前の組合に對抗して組織した譯でなく組合加盟勸誘を受け小賣商組合から要求もあつたこともつて種々交涉して見たが結局積立金問題で協定が出來なかつた從前の組合では毎月廿弗宛醵金して

▲一軒宛　現在四百八十弗宛即ち八軒で三千八百弗も積立金があるが組合に加盟する此の四百八十弗を納めよとあつたので非組合側は積立金不要を稱へ更に讓步して百弗納めて毎月廿弗宛負擔すると申出でたが組合側が承知せず交涉が了つた次第であるも新に組合が出來ても共通の利害は

▲相互に隔意　なき協定を遂げるつもりである』云々とあつたがこれで桑港には食料雜貨卸商組合が二個出來たわけで商人側から見れば成る可く統一して一致團結を期する方が利益であらうが消費者側から見れば却つて二個の組合が對立して相互に競爭して呉れる方が利益であると

●天洋丸の給仕長が手引きして橫濱から二名の密航者
▼船中では二等船客として胡麻化す
―猶は他にも連累者有る見込み―

昨日入港天洋丸で日本から靜岡縣人遠藤德（二〇）同遠藤吉藏（二〇）の兩名が密航してホノルヽ、出帆後發覺し當地入港後移民官の手に渡され

▲天使島に送　られたが二等給仕長近江今朝治（三五）が右兩名密航補助の廉に依り共に移民局に送られた、此事件に就て同船にては秘密に附し入港當時船內に監禁中の兩名に對し絕對に面會を謝絕し其秘密の洩れることを虞れてゐたが記者の探知した處に依ると天洋丸の此の

▲給仕長が其　職責を亂用して自分が給仕長たるを奇貨とし橫濱の某宿屋と結托して右兩名を出帆前に秘かに乘船せしめ二等室に入れ乘客らしく裝はせて食事なぞを給與してゐたのであつたが遂にホノルヽを出帆した翌日發覺するに至つたとの事東洋汽船としては橫濱に歸航して直ちに同人を

▲解傭する相　であるが當地で其儘にし置けば上陸の際脫走する虞れがあるより共に移民局に送つた猶は訊く所に依ると未だ外に共謀者が居るらしく之れを機會に斯かる不埒な船員を撿擧して其跡を絕つやうに移民局も大に努めるだらうと云ふ

●精神に異常
▲福島縣人鈴木祐吉

桑港グリー街一五二五貸本業並びに電氣器具販賣商文華堂經營者福島縣人鈴木祐吉（四二）は精神に異常を來たし友人等の盡力にて昨日ペーヂ街私立米人精神病院に入院一先づ

▼保護を　托したるが其の症狀に就き知友間に訊くに同人には廣島縣に妻と年頃の娘有るが由にて近來婦人の事に就きて有らぬ事を口走り他人の妻女に少なからぬ迷惑をかけたりとの事なるが一昨日の如きもヒノエ組洋服店に至り大袈裟なる事を並べ立て家族の爲にとて

▼多額の　洋服注文を試みたる事ありしも友人の知る所となりて危く其注文を取消したるが昨日病院にて診察を爲し猶は十三日血液を試驗せる後若し本物と決定せば故國に送還するの方法を執る可しと

本日の英文欄

論說欄には九月二日の社說「成立希望……根本的解決」及び九月五日の「特殊利益……日英米諒解」の譯を載せ「武士道」及び「日本神代物語」及び「猫」は前週よりの續きにて「移民侮辱」はファーイースト誌より轉載せり

●桑日の慰問袋
▲合計六百十一個

昨日日會は其募集せる慰問袋合計六一一個を春日艦に直接贈れるが應募者取次團體と數量は左の如し

東海印刷所九七▲山口縣人會八三▲上町料理店組合六〇▲岡山縣人會五〇▲廣島縣人會四三▲筑後人會三八▲佛敎婦人會、同女子青年會各三二▲高知長野、兩縣人會各三〇▲上毛人會二〇▲靜岡縣人會一七▲福井縣人會及矢野又五郎氏各六▲桑港裁縫學校三七▲洋服洗濯業同盟會廿弗▲魚山氏一弗

●栗原教授講演會

昨日天洋丸にて着桑せる第三高等學校教授にして雜誌『黎明』の主幹文學士栗原基氏は今十一日午後八時よりサター街日本人青年會に於て『黎明の精神と帝國の前途』と題し一場の講演を試む由にて一般の來會を希望すと

●エビスホテルと觀光團員募集　來る十一月十九日出帆の東洋觀光團員に限り出國稅免除の特典を有す加入御希望の御方は滿員にならざる中に御申込被下度候　1645 Buchanan St., S. F. Calif.

●桑港麯の元祖　其名嘖々たる藤本商會の⊡麯は一大擴張を計ると同時に品質及包裝に改良を加へ且つ安價多賣主義を以て一般顧客の利益を計るべし　Fujimoto Co. 1014 Stockton St., S. F.

●天カギダイ白味噌　廿五斤入三弗四十仙　干麯二斤入七十五仙　加州內運賃無料品質善惡茲に申さず御試しなれば分明各地に販賣店ありなき處の方は直接左に　Kagidai Miso Co. 1534 Post St., S. F.

讓受廣告
私事今回藝備旅館を讓受け益々勉强營業可致候間何卒倍舊の御引立の程奉願上候
桑港スタクトン街七三八（トンネル前）
藝備旅館　館主　杉岡岩治
電話ガーフキルド二〇五九

元吉寫眞館
桑港フキルモア街二〇〇九半（パインとカリフオルニア間）
（電話）ウエスト一〇五四

實用英語學校（千九百二年創立）
Misses Coleman & Lloyd.
2905 Bush St. Near Lyon St. S. F.

新茶着荷　特別安賣　送料無料
御菓子　鑵入銘茶各種
桑港ポスト街一六九九
御菓子司　松屋
電話ウエスト五三六六

紳士淑女子供乘用　靴一切　特別大勉强
日本人向　浦川靴店
桑港ポスト街一七一七
電話ウエスト一三二九

春月堂
桑港ポスト街一八二二
カキモチ並煎餅卸小賣
電話ウエスト一四二八

本年度　新茶定價表

大々走新茶	一斤	十五弗
大走り新茶	一斤	三弗
大走り鑵入	一斤	三弗
同　相馬園	半斤	一弗五十仙
春	一斤	七十五仙
初　相馬第一	一斤	一弗五十仙
同　第二	一斤	一弗五十仙
同　第三	十斤入箱	十五弗
同　第四	箱五斤入	六弗
同	同	五弗

相馬茶店
234 E. First Street, Los Angeles.
電話六三二一九八

第七回桑港旅館組合主催　東洋觀光團
團員大募集
防長旅館
桑港サウスパーク一〇二
電話サター　八五〇一

最新式自轉車モータサイクル及附屬品一切並に修繕
中古、クリブランド、モターサイクル多數持合あり
輸出入　卸小賣
部谷自轉車商會
桑港ポスト街一八二四
電話ウエスト八三九六

祝廿有五週年　永本ホテル
弊館茲に營業廿有五年に相當るを以て聊か日頃の御愛顧に酬ひんが爲め八月一日より向ふ十二月卅一日迄御投宿の御方に限り漏れなく抽籤を以て破天荒の大景品進呈仕り尚館員一同大車輪にて勉强仕可候間御家族御迎ひ御歸國の御用務にて御出桑の際は御投宿の榮を賜り度如何なる手續をも懇切に御世話申可候に付何卒永當々御最負御引立の程偏に御願申上げ候
想ふに隻一肝よりして弊館の土地家屋に至る迄我所有に歸し昨今の隆盛を來し候は偏に在米各位平生の御最負御引立の賜と館員一同衷心より感謝致し居候　敬白
桑港サウスパーク街二十二番　館主　永本要藏
電話サター八六六一

◎卸小賣◎古手と交換◎裁縫無料教授
シンガーミシン
シンガーミシン會社在勤　みとま
桑港ブキャナン一五三三
電話フキルモーア一九〇七

洗濯所用諸機械
ワシヤフ、リンガ、ストウブ
ベルト一切新及古物安價販賣
チヨン・ダブリウ・リード
1459 Mission St., S. F. Tel. Market 778

原田寫眞館
桑港フイルモア街一六三三
電話ウエスト六三六〇
（ポストとゲリーの間）

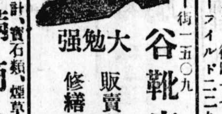
自動車操縱、修繕等一切
短期間に敎授す
太平洋自動車學校
Pacific Auto Engineering School
337 Golden Gate Ave., S. F.

英語個人教授
桑港フイルモア街一四三七
グリー街一四〇八ミセスカイル

●引延●進呈
吉里寫眞館
桑港フイルモア街一六五三
電話ウエスト八六五〇

金門貸自働車　猪野
ポスト街一六五二
電フイルモア二三〇七

御菓子卸商
菊屋商店
桑港グラント街四一七
電話ガーフイルド二二九八


斬新流行
大勉强
販賣部　修繕部
谷靴店
グリー街一五〇九

登録事務開始
八月卅日より九月二十日まで登録事務取扱ひ候條未登録者は速に登録されたし
八月廿八日　桑港日本人會

和洋雜貨、時計、寶石類、煙草
財滿商會
桑港ゲリー街一五一五
電話ウエスト九三九二

アイスクリームパラー新設
御菓子輸出入
勉強堂製菓會社
桑港グリー街一五三三
電話ウエスト七五三七

一日十仙　たやすく買へます
シンガーミシン特價販賣
太田永太郎
桑港ブキャナン街一七一五
電話ウエスト四〇三七

母心　婦人良藥血の道藥（一週より五週間）
菓子屋向原料品一切、製菓卸問屋
丸三貿易商會
桑港支店　360 Brannan St., San Francisco.

病者の爲
信頼の出來る醫師、血液檢査所及びX光線部の紹介と通譯をなし病者の相談に應ず
桑港ラグナ街一四三二　救世軍醫事部　顧問　古庄弘
電話ウエスト六〇八二
同へムロック街五二五
電話フイルモア六一八

和洋賣藥並に男女用品一切
タムラ藥舗
說明書は御申越次第差上ます
TAMURA YAKUHO, 1708 Buchanan St., S.F. Cal

米國電話パシフイツク八四八一
大河原法律事務所
T. Okawara, Hearst Building San Francisco, Tel. Sutter 3127

補血强壯　オー、オー强壯錠　一ケ月分金二弗
電話ウエスト九五五七
小川藥舗　米國製劑小川龜重（目錄進呈）
OGAWA'S PHARMACY, 1703 Buchanan St., S. F.

◇酪農業 (二)

=枯草と併用するサイレージ 優良素質を遺傳する牡牛=

同胞農家の向ふ可き

東部地方の酪農家には冬期嚴寒の候青草代用としてサイレージが是非無くてはならぬ飼料とせられて居つたが加州では年中殆んど青草の絶ゆる間がない故に其必要を餘りに感じなかつた然し十數年前から加州でも夏期牧場の草の枯れる時期にサイレージを利用するの得策なるを唱道する人々が現はれ今では灌漑耕地で

▼年中青草不足を訴へない農家でさへサイレージ貯藏設備をやる向きが多い此サイレージと云ふのは酪農場に普通見るタンクの形した大きな木製又はセメント製の槽の中にコーン其他の牧草を細かく切つて貯藏した物を呼ぶし其貯藏用タンクをサイロと云ふ、サイロに貯藏せられた飼料は貯藏中輕度の醱酵を起して其味少しく

▼酸味を帶ぶるが含有養分は此醱酵作用によつて消化が容易となり乳牛も又好んで食する。加州多數の酪農家の經驗ではサイレージをへいさ共に乳牛に與へて好結果を得てサイロ建造に相當な費用をかくるは甚だ有利な投資であるとの意見に一致した、其建造法には各種あるが米人農會創案の分では其費用一噸の

▼容積について一弗五十仙乃至二弗、ステープ(桶板使用)二弗五十仙乃至四弗、コンクリート製五弗五十仙乃至七弗位の費用を要する、建造方法が宜しければ以上三種何れでも用はするが長持ちする上から云へば安價な分は早く破れ高價の分が永續する、乳牛十二頭用としては十二呎に二十四呎

▼二十五頭から三十頭には十四呎三十二呎、五十頭から六十頭には十八呎に三十六呎のサイズのサイロが必要である、名の知られた酪乳地方ではサイロに牧草を積め込む仕事を請負ふ人があるから其人に依賴するとしても請負人が無かつたなら自からカツター機を二百弗位又は夫以上も出して買ひ入れなければならない

▼動力としてはトラクターを利用し得る、乳牛選擇には以前に本紙に記載した優良乳牛の記事を參考として再讀せられたい、倘酪農家の組合等があつてカウの試驗を實用してる地方なら買はんとする乳牛の產乳記錄も鑑定の助けとして參照するも十五弗か二十弗餘分に拂ふても年に二百七十五封度以上三百封度もバター脂肪を生産する乳牛を買ふ方が安價で同期間内に

▼二百封度以下のバター脂肪を生産する牛を買ふよりも利益が多い、如何となれば乳牛總收入中一頭について六七十弗は一年間の飼料として支拂はねばならぬから純利益は飼養料以上の生産に依つて初めて出るからである酪農家の便宜を計り實地敎授をやる乳牛檢查組合や米人農會中酪農に關する部門のある地方があるからそれに

▼酪農組合加入の特典▲

▼加入すると種々の便宜を得られるし經驗ある人々とも會つて意見を聞く機會も出て來るから少し許りの費用とタイムを費して加入すべきである以上二種の團體では乳牛の脂肪分檢査をやるから自分の牛が果して上等の牛乳を生産するや否やが分明し尚其生產乳の質と量によつて飼料の

▼加減もやり得るが然らざる場合には自から秤とミルクテスターを買ふて各乳牛の生產ミルクの記錄を取つて其優劣判斷の材料とし劣等な牛をば片端から賣拂ふ、惡い牛は何年間飼養しても利益とはなるよりは寧ろ他の乳牛から擧がる利益を食ふて仕舞ふ、交尾は必ず其系統を引た牝牛が年四五百封度以上の成績の擧がつた種牡牛にあらざれば許さない、

▼バターを生産すると云ふ牡牛の歷史を調べて見ると其過去の成績が產乳の遺傳を子孫に傳ふる能力があるや否やが分明するから良質遺傳の特枝のある牡牛のみを選ぶ又地方によつてジャーシーとかホルスチーンとか流行する牛の種類が異なるから其地方の好に逆行せずに順應すると生産物販賣其他何かにつけて便宜也

◇フレスノより　尺麗

「世の中は何んのへチマと思へどもぶらりくとしても居られず」そこで百十度の炎熱を突いてフレスノに向ひ候▲昨日まで瓢簞棚の夕涼、妻君と議論を戰はしてゐた拙者にはチト閉口の氣味なるも瓢簞的眞理探究のためと思へば止を得ず候▲論は證據を尊ぶとの格言に基きダイニューバの前田君の庭前にある瓢簞棚を視察すべく遜濱君と同行仕り候▲昨夜拙者にはチト張り過ぎてゐると思ひ乍らウエスタン ホテルといふ大ホテルに宿泊、田舍者には過分のルーム代を支拂ひ恐れ入りてダイニューバ(或は大入場或は大女房とも譯す)に參り候

●トメトー鑵詰

▲生トメトーの用途 米國陸軍にて其貯藏鑵トメトー數百萬ケースを頗る低廉價格にて拂下げつゝある結果として同品市況甚だ振はず鑵詰會社耕作者共に苦境に陷りつゝあるがサンノゼ地方にては數日前銀行家鑵詰會社耕作者の相談會を開催し今後の方針について協議する所あり同地方には約一萬五千噸のトメトー未だ販賣せられず銀行家にして鑵詰會社に金融の便を與へざれば他に用途なく腐敗に委せらるゝ運命にあり

●人造厩肥製造

▲目下試驗中 英國ロサムテッド農事試驗場で人造厩肥なる肥料の製造法を試驗中であると云ふ其方法の詳細に亘つては今の所分明して無いが大體に於いて敗物の穀類藁に水をかけて腐敗せしめ尚窒素分供給にはアンモニヤ塩類の如き礦物質肥料を加ふるものとの事である此方法が完成せられて安價に厩肥と同樣な肥料が製造せられるなら加州の如き植物質肥料不足の地で高價を拂つても倘供給の不足する地方の農業家には大に便利となるであらう

◉訂正 昨紙第四面五段目腐物芋の利用は敗物の誤り

金曜日の桑港市場 (九月十日)

瓜稍持直す

▲瓜の市況 キャンタロープは休日明けの本日に至り天候恢復と共に稍々市況を持直し來りスタンダード一弗廿五仙臺まで恢復したりポニースは品薄を示めせり此の調子にて市場にも現物減退せるより幾分恢復の見込みあれど結局大したるものには非ざるべく前途樂觀を許されず

▲木苺が不振 悲境に在りし

▲種無葡萄品薄 本日の市場に於て葡萄は一般に弱氣を示めしたるもシードレスのみは品薄にて却つて市價引上げられるの奇現象を呈したり今後ローダイ地方の出荷旺盛に伴ひトーケイ其他の卓子葡萄漸次下向きを示めさんと觀測せられ居れり

▲林檎の弱氣 最近アップルの出荷日增しに盛となり華村地方にては既にニュートンピン一弗八十五仙より二弗、レッド一弗七十五仙より一弗九十仙の相場を稱へつゝあり桑港市場には未だ影響なきも來週にも入らば其反響を見るならんと

▲木苺下落 本日苺百六十七チエスト出荷(トラック)ありストロベリは變化なきもラスベリは下落し一チエスト十三弗より十五弗の相場を出せり

▲ビンズ好値 グリンピンズは一般に好値にて上物の需要多しイタリアン及びライマ兩種殊に高値を呼べり

▲芋の弱氣 スキート・ポテトーは出荷多きに拘らず強氣を帶び居れるに反し河下のポテトーは下落氣味を帶びたりアニオン又面白からず

▲セロリ出荷多し 本日セロリ多量出荷されしが安外下落せず上物は好値を持せり、レタスも好値を示めせり

▲フイッグ多量 フイッグの出荷多量にて殊にホワイトもの聊か過剩氣味なり

▲蕃茄旺盛 トメトー及びペッパー、キューカンボーの出荷は相變らず旺盛にて市況引立たず先づ保合の狀態なり

▲コーンの市況 グリーンコーンには品質上等のものと粗惡なるものとの其懸隔甚だしきものあり値段も之れに準じて高低を示めせり

■果物類

▲石榴 一箱一弗半より二弗半 一ドロア七十五仙

▲グレープ トーケー一クレート一弗七十五仙より二弗ラゲボックス二弗より二弗半 トムソン シードレス一クレート一弗八十五仙より二弗ラゲボックス二弗より二弗半マスカット一クレート二弗半ラゲボックス二弗半七十五仙より三弗ブラック一クレート一弗七十五仙より二弗半 マラガ一クレート一弗七十五仙より二弗上等二弗半

▲ペーヤ 一箱二弗より三弗 バートレット四弗より五弗

▲プラム 一箱普通もの一弗廿五仙より一弗七十五仙 大バスケット入七十五仙より一弗シュガプルン一クレート一弗より一弗七十五仙 グルースプルン一箱二弗半より二弗七十五仙

▲ピーチ ラゲボックス二弗半より三弗一クレート一弗半より一弗七十五仙 ストロベリーキーンストン一弗半より一弗

▲オレゴン 一箱一弗半より二弗

▲フイッグ 一クレート黑箱 七十五仙より一弗白七十五仙より一弗廿五仙

▲オレンヂ 箱バレンシヤ六弗半より七弗上等七弗廿五仙より八弗

▲レモン 二弗より三弗上等三弗七十五仙より四弗二十五仙

▲グレープフルーツ 一箱三弗より三弗半上等四弗より四弗半

▲アップル 總て四テヤ、ベルフラワー弗七十五仙より一弗九十仙 四テヤ半一弗六十仙より一弗七十五仙 レッド一弗より一弗七十五仙四テヤ二分一 グランベスチン二弗二十五仙より二弗七十五仙四テヤ二分一一弗七十五仙より二弗アレキサンダー一弗二十五仙より二弗 ホワイトペーメンス二弗

▲ストロベリー 華村及サンタクララ郡等の沿岸地方一ドロア箱バスケットもの五十仙より七十五仙標準バスケットもの七十五仙より八十五仙上等九十仙

▲キャナリ行 一封度十四仙

▲ラスベリ 一ドロア(十二オンス入)六十五仙より七十五仙上等八十五仙(八オンス)六十五仙

▲ブラックベリ 一ドロア小バスケット四十仙大バスケット五十仙より六十仙

■野菜類

▲新コーン 一袋一弗七十五仙より二弗半上等四弗

▲マスクメロン 一クレート(大型)一弗半より二弗半上等三弗 ペルシャン一弗より一弗半

▲ハネデュー 一クレート 七十五仙より一弗

▲カサバ 一クレート七十五仙より一弗二十五仙一封度一仙半より二仙

▲キャンタロープ 一クレートメーラツク産ポニース六十五仙より七十五仙スタンダード七十五仙より一弗上等一弗二十五仙フラット四十仙より五十仙サクラメント河下産一箱五十仙より一弗

▲ウオーターメロン 一封度一仙フロリダ一仙

▲スクワシ ラゲボックス一弗より一弗二十五仙 イタリヤスコワシ七十五仙より一弗

▲南瓜 一袋五十仙より六十五仙

▲ポテトー 一袋白二弗廿五仙より二弗半赤二弗廿五仙上等二弗七十五仙

▲甘藷 一パウンド七仙半

▲ペッパー 一パウンドベルラゲボックス四十仙より七十五仙上等一弗チリラゲボックス五十仙より六十五仙

▲胡瓜 一箱五十仙より一弗

▲エッグプラント ラゲボックス五十仙より九十仙トーピンダストン七十五仙

▲キャロット 一袋一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲ガーリック 一封度七仙より八仙

▲トメト 一箱七十五仙より一弗廿五仙プラムトメト小箱六十仙より七十五仙

▲アニオン 一袋赤一弗より一弗二十五仙黄白七十五仙より一弗上等一弗半

▲ネギ 一箱五十仙より一弗上等一弗半

▲ピース 一パウンドアラメダ七仙より九仙上等十仙より十一仙

▲ビンズ 一パウンドストリングビンズ七仙より八仙イタリヤン ビンズ九仙より十仙ライマビンズ十仙

▲セロリ 一クレート 四弗半より五弗上等六弗ホワイト四弗

▲レタス クレート 二弗より二弗廿五仙

▲氷詰 二弗半

▲パメー 七十仙半

▲鷄卵 上等七十二仙半エキストラプレッツ六十四仙半アンダサイズ四十七仙

花の繪島　青々園

(九)

一きは高き上壇の間に端座したのは三の御部屋の左京の局さすがに當代の將軍家宣公の寵愛を一身に鍾めたぶけあつて、容姿の美しい事はいふまでも無いこと、四つの若君を此の方が生んだとは思はれぬほど、初々しくて水々しいが、眼尻にすこし劍をもつて居るのは、若君の病氣を心配のあまり、氣のいら立つて居る爲でもあらう

その局とは一段下つて、當番の御中﨟梅山をはじめ御小姓や御坊主までが次の間までずらりと控へて居る

『繪島さまが御上りでござります』

案内の腰元を先きに立てゝ、前とは衣服を改めた繪島が入つて恭しく一禮する

『お局さまの御召しと聞きまして、何か若樣の御容體に御變りでもござりませぬかと、早速まかり出ましてござります』

『いや、若君樣は先程からすやすや眠つて御出であらばすゆゑ御案じなされるには及ませぬ』

『それを聞いて私しも安心いたしましたが、只今も女中たちが權現樣への御百度參りを首尾よく濟ましてござりますほどに、其の御利益によつてめでたく御本腹あらばす事と存じます』

『さあ、その若樣の御病氣につき、そなたに内々いひたい事があつて呼寄せたのぢや、皆の者は暫く眼通りを遠慮しやれ』

始めて局が口を利いた

『では、彼方へ參つて休息いたしまする』

斯ういつた梅山を眞先に、皆が立つて行つた跡は、局と繪島とが二人きりとなつた

『人拂ひをすれば誰にも遠慮はない、此方へ寄りやいのう』

『御免を蒙りまする』

繪島は傍近く摺寄つた

『そうして若樣の御病氣につき、内々仰しやりたいとは何事でござります』

『そなたは疾うに知つて居る筈ぢや、知つて居て私に隱して居るのは日頃に似合ぬ水臭い仕打ぢやぞ、私はそなたを怨んで居る』

『此れはしたり、出しぬけに其のやうな事を仰せ遊ばして、わたくしには合點が參りませぬが、先程から御前の樣子が只ならぬは餘程の大事が起つたと存せられまする』

『これが大事で無うて何としよう、そなたが其れを知つて居て私だけには知らしてくれないのぢや』

繪島はわざとほゝ笑んだ

『そのやうに遠廻しに物を仰しやらずに、詳しい譯を斯うくと此の繪島に御打明けあそばして下さりませ』

『それを言はいでかいな、そなたが言ふなといふても私は言つて退ける、外ではないが、御臺樣が若樣を調伏あそばしてぢやと、下々で噂をして居るといふではないか』

繪島はハッと思つたが、やつぱり笑ひに紛らすより他は無かつた

『まあ何事かと存じましたら、大事とは左樣なとでござりますか』

『それ、そなたの驚かぬは、疾うに知つて居て私にだけ隱して居たのぢや、今の若樣が御出生あそばして、山里の御部屋から此の御本丸へ移つた此のかた、主從ながら姉とも母とも頼つて居る此の私に隱しだてをするとは餘りに薄情ぢや』

『決して薄情とか水臭いとか申す譯ではござりませぬが、取留もない下々の噂を御耳に入れまして、あなた樣の御胸を惱ますは惡いと存じまして、つい申上げなかつたので御座ります』

『さあ、それが水臭い、此の間から、小姓や腰元が私に聞こわよがしに可笑しなとをいふによつて、事によつたら、其うではあるまいかと、先づ梅山に尋ねて見たら、そう御心付きの上は隱しても詮ないとぢや、實は斯樣々々で御座りますと、梅山が殘らず喋舌つたわいの』

『しかし、下々では如何な噂をいたしましても、其れを眞事にあそばすほど淺はかなあなた樣でないとは繪島が存じて居りまする』

『私は眞事にしたくない、御臺樣が其のやうな御方でないとは此れまで思うて居た、でも證據があつて見れば眞事とせずに居られない』

『して證據と仰しやいますは』

英語教授 親愛な日本人諸君の成功は實用的英語習得にあり妾は「キー」著者且十數年經驗あり懇切教授す Miss. C. RYAN, Tel. West 6125 3103 Clay St., S. F. (Near Baker)

貸金 自由公債 買入及び擔當僱利貸金 貴金屬品 寶貨勉强 質店 フイルモーア エコーン 物品は七ヶ月保管す 桑港フイルモア街千百番 ゴールデンゲート街角

英語教授 初學者、新渡航者、婦人及年少者の爲に懇切教授す パイン街二八一一 電話フイルモア二一二〇 寺澤教館

食料品雜貨 ます金商店 ポスト街一七九九 電話ウエスト四二二七一

桑港櫻府電氣鐵道 桑港埠頭キールートより櫻府行櫻府より桑港行毎二時間發車す San Francisco-Sacramento R. R Key Route Ferry. Phone Sutter 2339

名醫紹介 私子供全身腫れ多數の醫師に見放されたる處支那人女醫靜梅の施藥にて全治す同醫住所は桑港ストクトン街一〇四九なり ストクトン街山陽商會内 松岡

◎皮膚病專門男女症雜全治保證 診信は總て日本文にて宜敷候 通察時間自午前十時至午後九時 醫學博士 劉日初 桑港グラント街五〇二 Dr. LOU YIT-CHO

最新刊
上原景二 新言海 二、〇〇
長尾美知 育兒及小兒病講話 一、六〇
内田魯庵 復活 前後各 二、五〇
肥田春充 活力强壓徵動術 三、五〇
江馬修 不滅の像第三新らしき旅 一、二〇
高橋潤次郎 袖珍最近寫眞術 一、四〇
五大醫學博士述 通俗治療養生法 一、七五
姉崎正治 光あれ 三、〇〇
秋山守男 圖解姙娠及性交論 一、三〇
山原三郎 古代希臘の思想と文藝 二、八〇
水上瀧太郎 亞米利加記念帖 二、五〇
中村吉藏 戲曲井伊大老の死 二、二〇
高嶋平三郎 家庭心理講話 四、五〇
松永信成譯 魔窟 二、四〇
生田長江譯 悅ばしき智識 二、八〇
羅府東一街二五〇 電六二五九五 博文堂 250 E. 1st St. Los Angeles. Calif.

御禮廣告 夫 松林重吉 送葬の際は御多忙中態々御會葬被下其上多分の御香奠御香花等を賜はり御厚情辱く奉謝候實は一々拜趨御禮可申述筈の處取込中乍略儀以紙上厚く御禮申述候 敬具 九月九日 サクラメント 妻 松林シマ 親戚 淺木留藏 濱本重吉 赤邊富助 河内榮藏 林百合槌 久保彥助 森重延郎 岩崎鹿次郎 横山宇之助 宮川安太郎 友人總代

金の代用になる 此廣告を切り拔き金五仙封入し Foley & Co. 2835 Sheffield Ave. Chicago, Ill. へ送附せば無料にて感冒の藥ハネーター及び背痛リユマチ藥キドニー錠と下劑カサーテツク錠の見本を進呈す住所姓名を明記すべし到處の藥店で販賣 (九の一)

◉註文せよ◉ 大正九年度の新種子物を 代價表は御申越次第無代進呈 種子物原產地加州ホリスター 山中丈吉(園主) Hollister Seed Co. Rt. 2 Box 112 Hollister, Calif. U. S. A.

たねまけ(ヨキタネヲ)まけ

練馬大根 一斤 二、二五 / 櫻嶋大根 二、二五 / 直隷白菜 一、八〇 / 金州白菜 一、八〇 / 時なし大根 二、二五 / ちりめん白菜 一、八〇 / 體菜シヤクシナ 一、八〇
宮重大根 一斤 二、二五 / 大玉白菜 一、八〇 / 朝鮮白菜 一、八〇 / 聖護院大根 二、二五 / チイナ大根 二、七五 / 聖護院カブ 一、五〇
レタス ニューヨーク / カブ 紫丸カブ / 人參 デンバー ハーフロング / スピニチ ブリックリー / ビート ストラテジー
其他なんでも 遠方の方はチャツキでもCODでも送升 北澤兄弟商會 Kitazawa Bros 197 Jackson St., San Jose, Calif.

尺八 音譜 ◉獨習案内(代價一弗)曲譜種々目錄進呈す=倘此外に段物

尺八教授 尺八道獎勵の爲=無料にて教授す ▲在桑港 かすみ會 1731 Buchanan St., S. F. Calif.

鮮魚 食料品一切 海陸商會 桑港ラグナ街一六一一 電話ウエスト四五〇五

皮膚病 妙藥 ▲代價二弗(郵稅不要) 此の藥は總ての皮膚病に特効を有し根本的に身體內部の惡毒を去り外部皮膚のカユミを治す

衰弱病 妙藥 ▲代價一弗五十仙(郵稅不要) 此の藥は身體疲勞、神經衰弱、男女老衰機能不圓、貧血性、目まひ、頭痛、胃腸不消化等一般の衰弱症を救ふ唯一の身體強壯妙藥なり ▲一手(販賣發賣鈴木事務所) K. S. Suzuki's Office 1731 Buchanan St., S. F. Calif.

HOTEL FUJII 423 Maynard Ave. Seattle Wash. 妻君御親族御朋友御呼寄の際は前以て御通知被下候へば上陸に關し必要なる事項早速御返事可申上候 シャトル市メーナード街四二三 煉瓦造支館二棟タコマ及キャマ旅館各二百室最新設 藤井旅館

和洋食料品雜貨商 株式會社 新亞細亞商會 桑港ポスト街一六五九 電話フイルモア二七九三

皮膚の病氣は一時的療法では駄目 勿論一時的の療法で恐ろしい皮膚の治療を滿足するなれば膏藥でも塗り藥でも滿足出來る譯なれば此種の療法は眞に病氣を治す目的に叶はぬ遂に大事に到るものなり然し乍ら若し皮膚から眞に免るゝ事を欲するなら要するに其根本から治病する事が必要なり濕疹皮疹泡疹炎症其他の皮膚病より眞に免るゝ爲には先づ其原因をなす病毒を血液中より驅除する事が肝要にて此目的に對しSSS程效果あるものは今日迄見當らず此藥は昔から知れたるものにて血液中に達し其のツラブルを除くSSSは到る處の藥店にて販賣するが故に直ちに本日より用ゐられよ、始めよりの病狀を記し申込次第無料にて治療手續を返事す Chief Medical Adviser 821 Swift Laboratory, Atlanta, Ga. (五)

フロリン 葡萄摘採人員募集 八月廿日開始 食料善美 高給を支拂ふ 不老林日本人會農事部 大正區及エルクグローブ 農業家一同

年に一度の日米住所錄

愈々仕事に着手

■住所姓名の調査

年々の事でありますが隨分面倒なものであります、どうしても諸君の援助が必要であります、既に南加及び沿岸に社員が出張して居りますから調査の便宜を與へらるゝ樣に御願致します一戸を構へて居る方はどなたでも揭載を御申込み下さい、各地支社でも本社でも十月三十一日迄に御便宜の處へ御申込み下さい

■廣告取扱開始

右住所の調べを始めると同時に廣告の取扱ひを始めました御申込みが早ければ準備が早く出來ますから從つて結果がよい事になります、早く御申込み下さい

桑港 日米新聞社

FOR AMITY BETWEEN
AMERICANS AND JAPANESE

The Japanese American News

ENGLISH SUPPLEMENT
SATURDAY, SEPTEMBER 11, 1920 No. 7483

Far Eastern "Sepecial Interests."

Following is a free translation of an editorial in Japanese which was published in The Japanese American News last Sunday:

THE ENTHUSIASM regarding the Anglo-Japanese alliance on the part of both the English and the Japanese has greatly cooled off. Likewise, the opposition from the British colonies and the protest from China, as well as the particular interest of the United States' Far Eastern policy, wherein the future of the renewal of the Anglo-Japanese alliance seeemd to experience additional difficulty.

The alliance is extended for one year. During this year both the British and Japanese governments will investigate world conditions, and at the end of the year they must decide whether or not the alliance is to be renewed.

That clause in the text of the treaty which refers to "special interests of both signatorial nations" calls special attention to the United States government. An unofficial discussion is reported to be on between this government and the government of Great Britain. Whether the governments are discussing this problem, as reported, is of no particular interest to us, but the United States government is particularly interested in these "special interests."

This, we feel, is a matter of course, for recently the United States wished to extend her hand in China and Siberia. Since the arrival of Mr. Charles Crane, the new American minister to China, the pro-Americans in Chinese politics have become very active and are beginning to hold important positions, spending large sums of money. Having a considerable fund for an army, they are oppressing the pro-Japanese party in China and recently inflicted disaster upon Tuan Chi-jui, who inherited the political influence of Yuan Shih-Kai.

We cannot predict what the future will hold, but we are justified in surmising that American rights and privileges are to be extended in many directions in China. If that were done the British and Japanese governments would naturally protect their "special interests" in China, bringing about a situation of acute competition.

It is quite natural that the United States government should not recognize the Anglo-Japanese alliance as readily as had been expected before it is known precisely what are the "special intrests."

To be sure, the "special interest" clause is used in the Ishii-Lansing agreement. Therein it says the United States government recognizes the paramount interest of Japan in China. But concerning this "special interest" clause in the Ishii-Lansing agreement there was no clear understanding. Viscount Motono, minister of foreign affairs at that time, answering an interpellation of the Russian ambassador at Tokyo regarding the meaning of "special interests," answered that Japan had her own interpretation and was determined to carry it out.

The United States government surely will not miss this opportunity to request an interpretation of the meaning of "special interests," so as to avoid future trouble with both the British and Japanese governments.

Upholding the Monroe Doctrine, the United States government can hardly brook Japanese interference in Eastern Asia. In this regard the British government certainly will share the opinions of the United States. It appears to us, therefore, that the British government will come between the United States and Japanese governments in the Far East and will take up the burden of the competition between the two. That competition may spell the interpretation of the "special interests." Japan will claim special interests in the territory close to Japan, such as Manchuria, Mongolia, the Siberian coast, Saghalien Island, Shantung Peninsula and Fukien.

As to economic expansion, however, in all the above mentioned areas, as well as the whole of China, Japan will maintain an open-door policy, equality of opportunities and the integrity of China.

But Japan certainly will insist upon her own interpretation. Unfortunately, it seems to us, the interests of the three powers in China—Japan, England and the United States—are not quite in accord. As regards Japan in particular, her interest in China is of such concern that it is a matter of the existence or death of the Japanese nation.

For these reasons Japan should have a complete understanding with the government of the United States. There is plenty of room, we feel, for reform in the policies of the Japanese government and its attitude toward China. Hereafter the Japanese government should maintain a far-reaching policy of economic and peaceful expansion.

In carrying out that policy the mutual existence and co-benefit of Japan and China should be protected and safeguarded by every means. This must be understood by the British and American governments. Renewal of the Anglo-Japanese alliance should be established with this understanding.

Cracking a Hard Nut.

SOME days ago negotiations were reported to be "progressing smoothly" between Secretary of State Bainbridge Colby and Japanese Ambassador Shidehara with a view to a stoppage of further immigration from Japan and the granting of citizenship to Japanese in this country. Commenting on these negotiations, The Japanese American News said, in Japanese, on September 2:

As we have observed repeatedly, Americans in general are agreed that additional Japanese immigrants are undesirable. But they do believe, it seems to us, that proper protection and guidance must be accorded the Japanese already here—a mere handful in comparison with more than 100,000,000 Americans.

Proof of this attitude of Americans is to be found in the platforms of the Republican and Democratic parties and in an analysis of public opinion expressed in Eastern states. Also, it is to be gained through friendly conversations with Californians.

Those who advocate absolute exclusion of the Japanese and would go to almost any end to oppress Japanese in America are confined to a few agitators and their blind followers. Among the anti-Japanese agitators extravagant assertions are made and they would not stop until they had taken from Japanese born in this country the right of citizenship. We feel, however, that Americans in general are far too sane to become involved in such an anachronism.

Even these Japanophobes are forced to admit the Japanese are not inferior to Americans, as generally branded. Mr. Chambers, the State Controller of California, who conducted a special investigation of the Japanese in this State, for anti-Japanese purposes, made the emphatic statement in his report that the Japanese are industrious and possess great ability.

The only point of the Japanophobes is that if the industrial expansion of Japanese in California is allowed to go unchecked the future of the State might be menaced. On this hypothesis they are preaching that now famous doctrine of the unassimilability of the Japanese.

Their assertion, however, is but an a priori idea, unconfirmed by facts. They have made no painstaking investigation and researches to prove their contention.

Furthermore, they pretend not to know that they themselves are putting the bars up against Japanese who, through merit, might well be granted citizenship.

We know the Japanese in California at first hand. We know their history, every bit of evidence of their struggles and endeavors during the past ten years or so to Americanize themselves. And we would say to Americans without a moment's hesitation that the Japanese have made tremendous progress in this respect. Furthermore, if citizenship shall be vouchsafed to Japanese residing in the United States they will progress with a rapidity perhaps a hundred times greater than ever before.

Assimilability or Americanization—both of these terms always mean the development of future American citizens. It is absurd to look for these qualities where they are not permitted.

Regarding the granting of citizenship to Japanese we would like to say a few words, as we do not wish to be misunderstood by anyone. The act of granting citizenship to Japanese in America does not mean that all of a sudden approximately 100,000 Japanese in this country would be naturalized. To become naturalized there is a legal procedure which any alien must follow; Japanese are no exception. Also, it is for the individual to determine whether he wishes to become naturalized. Therefore, the act of determining that Japanese shall be eligible to citizenship does not mean that all the Japanese here would become American citizens.

As for the proposal that Japan shall send no more immigrants to the United States, that ought to be regarded by all as a necessity. As a matter of fact, ever since the signing of the gentlemen's agreement the Japanese foreign office has tried hard enough to live up to its spirit. To enforce more strictly this gentlemen's agreement would not cause additional trouble to the Japanese government.

The trouble rather is with the American government, which must settle the problem of citizenship grants to the Japanese. But of the two propositions, if the so-called Japanese-American problem is to be solved fundamentally, leaving no room for friction between the two powers, the latter is a more welcome policy for Americans and Japanese. We, therefore, for the saké of both great nations, hope the reported negotiations will be happily consummated in the near future.

WHEN THIS OLD WORLD WAS YOUNG.

(Continued from last Saturday.)

THE EMPEROR was ill. Most horrible and unaccountable sounds proceeding from the roof of the palace, called the Purple Hall of the North Star, made it impossible for him to sleep.

So worried and distressed did the Emperor become that a number of brave and loyal courtiers determined to lie in wait for the strange wunx that disturbed his majesty's nights. When the sun had set they noticed that a dark cloud crept from the eastern horizon and alighted on the roof of the august palace. Those waiting in the imperial bedchamber heard extraordinary scratching sounds. It seemed as though the thing had changed suddenly from a cloud into a wild beast with great and powerful claws.

This terrible nocturnal visitor returned again and again. The Emperor grew worse. At last he sank so low that it was patent to all in attendance that unless something were done to destroy the monster his majesty would pass away.

Yorimasa finally was selected as the one knight in the kingdom valiant enough to relieve his majesty of the terrible haunting monster. The knight made elaborate preparations for the fray, taking his best bow and steel-headed arrows. Over his armor he donned a hunting dress. Instead of his usual helmet he wore a ceremonial cap.

Before night Yorimasa concealed himself outside the palace gates. Presently, while he lay concealed, thunder boomed overhead, lightning flashed through the heavens and the wind shrieked like a pack of super-demons. But a brave man was Yorimasa and nothing dauntee was he by the fury of the elements.

At midnight the watcher saw a black cloud rush through the northern sky and alight upon the roof of the palace. It stopped at the northeast corner. Lightning flashed again in the sky and Yorimasa saw the scintillant eyes of a monster. Noting its exact position, he pulled his bow until it became as round as the full moon, then let fly an arrow. It hit the mark. The roof trembled; an awful roar of anger was emitted by the animal. Then a heavy thud, and the monster rolled from the roof of the palace to the ground.

Running forward, Yorimasa and his retainer dispatched the fearful creature before them. The dread monster was the bigness of a stallion, wore the head of an ape, its body and claws resembled those of a tiger, it had a serpent's tail, wings of a bird and the scales of a dragon.

The happy Emperor, the terror of his waking dreams removed, gave orders that the hide of the monster should be kept forever in the imperial treasure house as a curiosity. From the moment of the monster's death the Emperor's health improved rapidly.

Yorimasa was rewarded, being presented a sword called Shishi-wo, which means, "the king of lions." Also he was promoted at court, and married the Lady Ayame, most beautiful of all the ladies-in-waiting at the imperial court.

(Continued next Saturday.)

ON IMMIGRATION ABUSES.

THE FAR EAST, published in Tokyo, in its issue of August 7 contained the following comment on alleged Japanese evasion of immigration laws and their infiltration into California:

Mendacious observers are applying the microscope to the Californian situation with alarming results. We are told in all seriousness, in a lengthy statement published in Thursday's papers, that Japanese are evading the United States immigration laws, not singly, but in battalions, and certain evidence is given in support of the charge, by a member of Congress, who is chairman of the House committee on immigration. He alleges the existence of a systematic organization by which thousands of Japanese enter the United States, via Mexican territory, every year. He alleges that Japanese leave Yokohama destined to Guaymas, Mexico, whence they are smuggled into the "interior." The more serious phase of this charge is that members of the "Japanese Association" take charge of the "immigrants" and open credits at the bank, after which the refugees disappear into the agricultural void for five years. "At the end of this time," to quote the Congressman, "he emerges from his seclusion, and, if questioned, can refer to his bank deposit, showing that he has been in the country for five years, as required by law."

Congressman Johnson of the State of Washington, who is responsible for these statements, says that the Japanese Association keeps no record of those who have entered the country unlawfully. But if there is any basis for his allegations, they will be found in the records of the banks, and a reference to these records will doubtless be made. The charges made by the Congressman on their face appear absurd, but mere denial will have little effect in removing the suspicions of people ready and willing to suspect; there should be a rigid investigation of bank and other records, and, equally, an examination into the activities of United States immigration officials in the regions through which this alleged invasion has passed. For, it may well be asked, what were they doing while a whole Japanese organization was at work surreptitiously increasing the population of the United States? Were they asleep?

The port of Guaymas, which (as Congressman Johnson alleges) is the port of entry for this irregular immigration traffic, is on the Gulf of California, in the State of Sonora, and some two hundred miles south of Nogales, the border town, with which it is connected by railway. Considering the disturbed conditions in Mexico, and Mexican relations with the United States, it is highly probable that the United States authorities are pretty well represented all along the border, and that no stranger would be permitted to pass without examination. In such a thinly peopled region is it likely that a steady stream of Japanese or any other people could pass into the United States without exciting notice and comment?

He that boasteth of his ancestors confesseth that he has no virtues of his own.

* * *

Hesitation seldom prospers.

* * *

He that borrows must pay again with shame or loss.

* * *

He that bringeth up his son to nothing breeds a thief.

* * *

He that builds a house beside the highway builds either too high or too low.

* * *

He that chooses takes the worst.

BUSHIDO.

By DR. INAZO NITOBE.

CHPTER XII.—(Continued)

BUSHIDO being a teaching primarily intended for the masculine sex, the virtues it prized in woman were naturally far from being distinctly feminine. Winckelmann remarks that the "supreme beauty of Greek art is rather male than female," and Lecky adds that it was true in the moral conception of the Greeks as in their art. Bushido similarly praised those women most "who emancipated themselves from the frailty of their sex and displayed an heroic fortitude worthy of the strongest and the bravest of men." Young girls, therefore, were trained to repress their feelings, to indurate their nerves, to manipulate weapons, especially the long-handled sword called nagi-nata, so as to be able to hold their own against unexpected odds.

WOMAN GUARDS SANCTITY.

Yet the primary motive for exercises of this martial character was not for use in the field; it was twofold—personal and domestic. Woman owning no suzerain of her own, formed her own bodyguard. With her weapon she guarded her personal sanctity with as much zeal as her husband did his master's. The domestic utility of her warlike training was in the education of her sons, as we shall see later.

Fencing and similar exercises, if rarely of practical use, were a wholesome counterbalance to the otherwise sedentary habits of woman. But these exercises were not followed only for hygienic purposes. They could be turned into use in times of need. Girls, when they reached womanhood, were presented dirks (dai-ken, pocket poniards), which might be directed to the bosom of their assailants, or, if advisable, to their own. The latter was very often the case; and yet I will not judge them severely. Even the Christian conscience with its horror of self-immolation, will not be harsh with them, seeing Pelagia and Domnina, two suicides, were canonized for their purity and piety.

When a Japanese Virginia saw her chastity menaced she did not wait for her father's dagger. Her own weapon lay always in her bosom. It was a disgrace to her not to know the proper way in which she had to perpetrate self-destruction. For example, little as she was taught in anatomy, she must know the exact spot to cut in her throat; she must know how to tie her lower limbs together with a belt so that, whatever the agonies of death might be, her corpse would be found in utmost modesty with the limbs properly composed.

Is not a caution like this worthy of the Christian Perpetua or the Vestal Cornelia? I would not put such an abrupt interrogation, were it not for a misconception, based on our bathing customs and other trifles, that chastity is unknown among us. On the contrary, chastity was a pre-eminent virtue of the samurai woman, held above life itself.

A young woman, taken prisoner, seeing herself in danger of violence at the hands of the rough soldiery, says she will obey their pleasure, provided she first be allowed to write a line to her sisters, whom war has dispersed in every direction. When the epistle is finished, off she runs to the nearest well and saves her honor by drowning. The letter she leaves behind her ends with these verses:

"For fear lest clouds may dim her light,
Should she but graze this nether sphere,
The young moon poised above the height
Doth hastily betake to flight."

It would be unfair to give my readers an idea that masculinity alone was our highest ideal for woman. Far from it! Accomplishments and the gentler graces of life were required of them. Music, dancing and literature were not neglected. Some of the finest verses in our literature were expression of feminine sentiment; in fact, women played an important role in the history of Japanese belles lettres. Dancing was taught (I am speaking of samurai girls and not of geisha) only to smooth the angularity of their movements. Music was to regale the weary hours of their fathers and husbands, hence it was not for the technique, the art as such, that music was learned; for the ultimate object was the purification of heart, since it was said that no harmony of sound is attainable without the player's heart being in harmony with herself. Here again we see the same idea prevailing which we notice in the training of youths—that accomplishments were ever kept subservient to moral worth. Just enough of music and dancing to add grace and brightness to life, but never to foster vanity and extravagance. I sympathize with the Persian prince, who, when taken into a ballroom in London and asked to take part in the merriment, bluntly remarked that in his country they provided a particular set of girls to do that kind of business for them.

ACCOMPLISHMENTS NOT TAWDRY.

The accomplishments of our women were not acquired for show or social ascendency. They were a home diversion; and if they shone in social parties, it was as the attributes of a hostess—in other words, as a part of the household contrivance for hospitality. Domesticity guided their education.

It may be said that the accomplishments of the women of Old Japan be they martial or pacific in character, were mainly intended for the home; and, however far they might roam, they never lost sight of the hearth as the center. It was to maintain its honor and integrity that they slaved, drudged and gave up their lives. Night and day, in tones at once firm and tender, brave and plaintive, they sang to their little nests.

As daughter, woman sacrificed herself for her father, as wife for her husband, and as mother for her son. Thus from earliest youth she was taught to deny herself. Her life was not one of independence, but of dependent service. Man's helpmeet, if her presence is helpful she stays on the stage with him; if it hinders his work, she retires behind the curtain.

Not infrequently does it happen that a youth becomes enamored of a maiden who returns his love with equal ardor, but, when she realizes his interest in her makes him forgetful of his duties, disfigures her person that her attractiveness may cease. Adzuma, the ideal wife in the minds of samurai girls, finds herself loved by a man who, in order to win her affection, conspires against her husband. Upon pretense of joining in the guilty plot, she manages in the dark to take her husband's place, and the sword of the lover assassin descends upon her own devoted head.

The following epistle written by the wife of a young daimio, before taking her own life, needs no comment:

(To be continued.)

TSZE-KUNG asked: "What do you pronounce concerning the poor man who yet does not flatter, and the rich man who is not proud?" The Master replied: "They will do; but they are not equal to him who, though poor, is yet cheerful, and to him who, though rich, loves the rules of propriety." Tsze-kung replied: "It is said in the Book of Poetry, 'As you cut and then file, as you carve and then polish.' The meaning is the same, I apprehend, as that which you have just expressed." The Master said: "With one like Tsze I can begin to talk about the Odes. I told him one point and he knew its proper sequence."

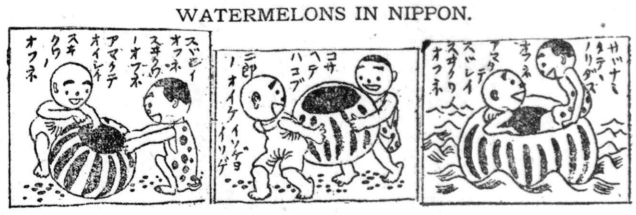
—Confucius.

* * *

THE MASTER said: "The accomplished scholar is not an utensil."

—Confucius.

WATERMELONS IN NIPPON.



WATERMELONS may have been invented by the American darkey, but his patent has expired, as this picture evidences These Japanese youngsters don't believe in wasting the rind, and since they can't eat it they make a boat of the shell. After the feast they go for a cruise in their dugout. What could be sweeter?

JAPANESE PROVERBS.

Have a care of a silent dog and still water.

* * *

He that knows little soon repeats it.

* * *

Health is not valued till sickness comes.

* * *

Health without wealth is half a sickness.

* * *

Hear twice before you speak once.

* * *

Heaven gives its favorites early death.

* * *

Heaven would often be unjust if it answered our prayers.

* * *

He deserves not sweet that will not taste sour.

* * *

Hedges have eyes and walls have ears.

* * *

He hath lived ill that knows not how to die well.

* * *

He that hath a head of wax must not walk in the sun.

* * *

Hell and chancery are always open.

* * *

Help yourself, and your friends will help you.

* * *

He shall have enough to do who studies to please fools.

* * *

ONE NIGHT ON THE THAMES

By Takahito Iwai.

THE stars reflect in sluggish Thames
The message to a stranger,
But many thousand miles away
The stars reflect on Fujigawa's swirl
Another message to a girl,
Perhaps, who waits and thinks
That heaven looks down on all and mends
The souls that found their rest in starlit
Thames.

—Translated by Frank Eldridge.

THE MASTER said: "I have talked with Hwuy for a whole day, and he has not made any objection to anything I said—as if he were stupid. He has retired, and I have examined his conduct when away from me, and found him able to illustrate my teachings. Hwuy! He is not stupid."

—Confucius.

* * *

THE MASTER said: "See what a man does. Mark his motives. Examine in what things he rests. How can a man conceal his character?"

—Confucius.

* * *

THE MASTER said: "If a man keeps cherishing his own knowledge, so as continually to be acquiring new, he may be a teacher of others."

—Confucius.

By SOSEKI NATSUME.

(Translated by a Japanese Schoolboy.)

HERE please I make a short detours on this so-called man.

This man-kind always to call us, "Cat, Cat." In such an easy-going, unsophistical way or manner and they criticize us somehow or other in most any way possible in despising manner; this very bad habits of this here mankind.

It seems by me that they are thinking that out of the human dust there came horse and cows and out of the horsedust and cows' dust the poor cats came out. This way of thinking is not at all solitary or rarified of course among these kind of teachers who are really nothing else in the world but ignorant and yet they to think that they are indeed very fine species or specimens. But it by no means praiseworthy as they do not realize that they are regular ivory headed or domed. Even though we are cat we are not so simple and cheap stuff as they superimpose we are. No we ain't.

When this mankind view us cats we might merely appear to them that we have all the same aspects or appearances that there are no individualities within us no matter what; we might even appear to them like machine-made or customs-made goods that every one of us do look as stamped same die and nothing else. But if they be so kind as to enter into our Cat-Society they surely could never fail to find out that individualities of cats is just like same with mankinds. There are no differences at all. Positively, absolutely not.

The manlike proverb that each one is different by the other or among the ten men you will find the all ten different is precisely applicable to we cat without any change or even modification by breadth of hair. Our juxtaposition of eyes, the shapes of the nose, lucidities of the hair shades or colors, our ambling ways, all of these are different by all cats among us. Yes, indeed, there are such differences by us. Take, for an instant, pretty one, beautiful one, winsome one, attractive one, comely one, humly one, attractive one, unattractive one, delectable one, delerious one, smiling one, frowning one, thinking one ,sap head, lovable one, shrew one, disgusting one, gusting one, kittenish one, cattish one, wild cats and tabby cats—all these sorts of differences or individualities if you like to use big words hard boiled which the mankind always admire to use in most of the cases, no matter whether these big hard boiled words mean nix to them. To-wit, there are by the thousands of millions the different individualities of the cat. These individual or minute differences are always politely disregarded by this mankind simply for the reason because of their ignorant foolishness. We appear by them the same poor, delicate little creatures with no signs or marks or blemishes or identifications whereby might indicate our different individual differentialities.

This mankind always vociferate their bethinks their "progress" or forward looking, and for purpose of obtaining this progress so-called or forward lookingness they are always reviewing the heaven with their eye and naturally and consequently they dispray entire familiarity of seeing cats' individualities which are so plainly demarked that no one at all in all the world can hardly miss them unless forsooth they are buffoons or fools by right.

For this I do not blame this here mankind. I rather pity them. Because they are terrible inferior in this regards. Kinds after kinds, we don't bespeak meat anybody but butcherman, candy must be adhered from confectioner; so the things of the cats must be unsettled with only cats—self determination and racial independence for cat family.

How high civilization of mankind it may reach they do not understand neither do they comprehend the cat. Still further, above and more, men is not by no means hardly at all great as they presume they are, so they can hardly be expected at all to appreciate of us cat. Still more further and yet, the dear, fond, kind, loving master of this here house are almost broke in his stick of sympathy and he is man who do not comprehend truth that mutual understand is the first principle of divine understanding love, so it is precisely and exactly next to impossibility if not indeed quite so entirely to have his the recognition of individuality of mine.

Sweet my masters is exactly like obstinate oyster which so forcefully and mightily clings himself to rock when he is trying to exclude in his study and sever all communications of world outdoors. This naturally made him not to understand anything whatsoever at all outside his the study. 'Tis great pities and really ticklish thing sure when I thinks to myself alone he is thinking himself possessor of great mind which he boasts to whole world he has.

As I do not like to make accusation of anyone without the proper reasons. Well, my evidence that he is not truly great like he thinks and estimates of himself is simply: He don't show any degree of existence of gray matters or intelligence in understanding true portraits of mine which is right before his front. He is exposing his entire disability saying as how this might be picture of Bears which is sample of Russian peoples, as second year of war by Russias. What pity! Oh migosh what tellible pity-sakes! This is really a long or mayhaps you will say this is an insufferably long comments, but I apprehend this is pedagogical necessity of mankind, which I hope will adhere to this here exposure. Cat—

I were sitting on my adored master's rap during all this time that I have been making long and deadly important speculation above; and this thinking was still agitating. There came in maids to whom I have such strong, acute and abominable disregard with another cards. My attentions is naturally called to this here new incoming cards and open eyes to find another painting of the cats. This time five cats printed; these cat ain't the Japanese species or kind, they were foreigners, aliens, unnationals; all these here five cat were so neatly reclined in sitting attitude in one row and they show such a scholarship that each one of them shamelessly holding book and pencils. They do be studying, I expect. One of them was dancing so studiously on ends of table expressing such jollity of spirits and singing in deep voices: "I am cats of foreign births."

And at top of this here card are written in wording "I am a Cat." And on the one side there was a piece of poems:

Lovely and charming is the springs,
All the cleatures breath the life,
Joy and melody within springa,
Even cats reads the books
And dance all the days long.

This is card sent by former student of my sapient master for the greeting of the New Years. This marked so clearly that there are nothing at all whatever left to be doubt. But—I must express great grief in word buts—this pleasant school teacher don't at all complehends what this picture is, and he began to have another mental stimulus or excitation, he began to move his head on one side first and then on another, and finally poor old dears said:

"It must be Cat Years this year!"

How weak and remarkable is his mind. There is no such year as Cats, though there are many of names attached to each individual years by different names of animal as they have imported to this here country from Chinese a long time ago. This poor delightful school teachers doesn't even know this simple shocking story about naming of years. How then inform me can he know that I become so suddenly so famous since this here new years.

Third card ushered in with ceremonies by maids. This here is not pictured card. Writ in ink as New Year's greeting, saying Happy New Years! and then there was a sort of afterthought in form of P. S., saying please extend my best wishes to your cats. How weak and feeble minded man he is, this time dear master could not fail that it was meant I, me, myself. He observe me and look at me elitically saying hum or sum such thing in funny-like voice came rolling out his throat. In his looking I discover he has expressed great difference and this time I could clearly notice that he began respect me somewhat.

I still have to think this respect of this kind masters is most entirely proper and respectable and necessity for him as this recognitions of my supreme ability by many of his friends and became famous made great contribution to fame of master who otherwise can not by any means whatever obtain such repute at all.

Then there was doorbells. I thought that was some guests, but I did not fare out to door to meet him as it was a gracious duty of the maids, not of me. I never responds by habit to door bells excepting the fish man rings it who brings in flesh fishes. So I was sitting tight on dear master's the rap just like as if I didn't notice anything at all in the world. Then the dear masters began to manifest or show great excitements as if suddenly bill collector confronted his door.

Reasons for this excitements is not for bill collectors indeed—I must give him credit on this here point—but he appalently did not care to be sociable, doing that how do you do polite entertainment stunts. He did not like to have drink home blew!

(More come Sattidy)

ロスアンゼルス (九日)

●學園父兄會

▲崇られた羅馬字 新教科書問題に關し第一羅府學園にては八日夜日本人學園に於て父兄大會を開きしが來會の父兄四十餘名伊藤理事長議長となり開會を宣し過日理事會に於て本問題の討議をなし事重大なれば玆に父兄會を開きて各父兄の說を聞かんとするものなりと述べ教科書編纂委員側を代表して島野學園長及び境澤委員より詳細の說明あり一同之れを聽きたる上先づ編纂當事者たる島野境澤兩氏の一時退席を乞ふて父兄のみの協議會に入りしが一人の贊成するものなく何れも

▲羅馬字反對 の精神にして滿場一致之れが採用をなさず若し強ひて之れを用ゆるに於ては兒童の退學をなさしむべしとまで極端なる排斥をなし居ることて到底羅馬字の併用は實現すべくもあらず遂に父兄會は委員を選定して各學園とも交涉をなし更めて編纂委員に向け新敎科書中より羅馬字を除きて他は之れを採用するか又は他の方法に依るかを交涉なすとし散會したるが羅府日本人會教育部に於ても本問題に關する

▲管內四學園 の大多數の意見を聽取し之れに對し何れなりとも一致の方針をなるべく十日夜八時より四學園理事長の出席を促して協議する筈なるが既に羅府市内約半數以上の兒童を收容する第一學園の意向斯の如くなる上に第二上町第三ハリウードの兩學園も反對を決議し第四トロピコ學園又贊成にあらざれば兒童最も多き羅府全體の反對あるものとて編纂委員も之れを實行する能はざるに至るべく結局委員の苦心せる新敎科書の內容材料の選定に關しては父兄も之れを容るゝならんも羅馬字の併用のみは絕對廢止となるべき形勢にあり

●婦人參政祝賀會 當市に於ける婦人參政の祝賀會は七日午後マゼスチック座に於て開會したるが來會者非常に多く今日までの婦人參政に關する說明あり更に今後は米國婦人は徒らに皿を洗ひパンを叩くを以て足れりとせず大に家事に對する時間をセーブして男子と共に政治上に活動せざる可からず此の方法としては四五軒共同にてクックを雇ひ主婦をして政治に參與するの機會を多からしめざる可からずと論じ現在の諸制度は何れも男子の作れるものなれば之れを女子の手にて變更し行かざる可からずと少なからず氣焔を上げ居りしが斯うした婦人參政の爲め亭主はクックを雇ひ入れざる可からざる破目に陷らんとは全く以て氣の毒千萬なり

●人の子より犬の子 最近市內に於て貸家拂底となりし爲め日本人の立退を命ぜらるゝもの少なからざるが一方米人間にても子供ある者は家主より貸家を嫌はれ寧ろ子供より犬の方は歡迎され何等の故障を生ぜず人間の子より犬の子が遙に價値を認めらるゝ奇現象となりアパートメントの如きも此の方針なるを以てエキザミナー社にては婦人の變裝記者を各方面に派して調查せる處なりとて大々的に之れを攻擊し居たり

●加州加盟祭 當市に於ける加盟祭祝典は各方面の團體にて擧行されしが其中最も盛大に行はれしはイーストレーキ街七二一の兒孫會堂に於けるネチーブサン及びゴールデンの兩團體主催のものにて立派なる米國々旗の贈呈式あり市長及び重なる人々出席演說したり

●牧師とカウボーイ 七日正午當市インベストメント建築內に開催されし廣告俱樂部に於て奇拔なる討論會開かれカウボーイと牧師とは何れが米國の爲め貢獻せし處多きやの議題にてカウボーイ代表ローチヤーは牧師は米國の爲め何等なさずと極論し牧師代表ブローアイは牧師の貢獻多大なりしと主張したるが審判役たる廣告俱樂部員は何れも米國に貢獻する處なしと斷定したりとは近來の珍話

●父兄に注意 バーモント街某花屋の子供はパンツを穿たずコートのみにてサイドウォークに遊び居り白人より嘲笑されありとて日本人會に注意方申出でし由なるが父兄は注意すべし

●津島氏結婚披露 山形縣人津島仁甫氏は今回妻女來米せるを以て十二日東京樓にて披露の晚餐會を開く

●北墨の賭場 メキシカリに於ける有名なるアオル賭場は八日ウエルタより閉止の命令に接したるが同地の商店も近く閉鎖さるゝに至らんと

●廣嶋縣人會役員會 南加廣島縣人會にては九日夜役員會を催し緊急問題の協議をなす由

●俱樂部の義太夫會 常盤俱樂部にては久しく例會なかりしを以て十日夜滯在中の宇都宮氏を依賴して義太夫會を催せり

●慈命院移轉 クラツカー街にありし同院は今回サンピードロ街養生院を讓り受け移轉し大々的勉强する由

●學園へ寄附 吉調會の師匠は今回の大浚會大成功なりしを以て之れが記念として第一學園に十弗寄附したり

●松浦氏來羅 臺灣擴水港製糖會社の松浦徹氏は糖業視察のため來羅せり

フレスノ (八日)

●密入國取締

▼英字紙論ず フレスノ・レパブリカン紙は論說欄に於て日本水夫の密入國と題し次の如く論じて居る米國移民調查委員エドワード・ホワイト氏の報告に依れば多數の日本人が米國に密入國を爲しつゝある彼等は日本船の乘組員であつて日本の監督官廳から乘組員たる事を許可されたものである此乘組員が歸國の途次逃亡すれば

▼船長又は 監督者のみ殘つて船舶を運轉する者が居なくなる故に監督者は船舶には二倍の乘組員が無ければ逃亡者を補充して歸航することが出來ないと云つて居る船員の逃亡は日本人間に起る事件であつて支那人には無い太平洋航路の船舶には支那人乘組員が多數居る支那人も米國へ上陸を希望して居るが滅多に其禁を犯さない殆んど日本人のみ密入國をする現在日本人支那人共に入國は禁ぜられて居る併し其處には自ら區別がある支那人は法律に依り

▼絕對入國 を禁止されてるが日本人の場合は左程勵行されてない日本人が米國へ來る時は日本の法律に依り取締られて居るが若し資格なき者が米國に入國した場合此者を送還するに於て別段規定されてない日本人の密入國者を取締るには支那人入國禁止法の如き嚴重な規則に依て勵行する事である日本政府は日本人の身分ある者が支那人入國禁止法の如き規則に束縛されて嚴重なる登錄を勵行さるゝと云ふ事は好まない事であらうが併し日本に於け

▲外國人は 到る處に於て國籍證明書を提出して嚴重なる取締を受けて居る又現在米國の支那人入國禁止法に ては此國に在る支那人にして國籍籍明なき者は彼等の本國に放逐さるゝ事に爲つて居る

●在鄉軍人團態度

▲感情的の排斥 布郡アメリカン・レジオン委員長テーラー氏は川嶋外交部主任に對し語れる處によれば『吾人は米國に於て米國主義を鼓吹するものにして此主義に反する者は何人と雖も排斥するものなり日本人と雖もセカンド・ゼネレーシヨンが此

▼米國主義 の下に忠實なる米國人と爲れば此者に對して迫害を加ふるが如き無かる可し要するにアメリカン・レヂオンは極端なる米國主義より感情的に日本人を排斥するものにして日本人を排斥したる結果に於て日米兩國の通商及び國交關係に如何なる影響を齎らすものなりやに就ては何等考慮し居らざるものゝ如し尚同レヂオンは本月十日會合を催し日本人問題に就き調查委員を擧げて更に研究を遂げたる後ち再び川島氏と會見する事を約束したりと

●ハロー夫人送別會 キングス郡日本人基督教徒を代表して日本に於ける世界日曜學校大會に出席す可きハロー夫人は九月十八日桑港出帆の天洋丸に乘船出發するに付九月十二日(日曜日)午後八時よりハンホード日本人長老敎會に於て送別會を開催す可きに依り多數人士の出席を希望すと尙同夫人の日曜學校大會出席並に日本訪問費募集せしに其寄附金合計千三百五十七弗に上りたり費途細別左の如し

寄附金總額一三五七弗▲內日曜學校協會旅費九四五弗ハロー夫人へ三五〇弗▲諸雜費及び豫備費六二弗

●本山氏養豚出品 フレスノ附近養豚家本山廣馬氏は布郡共進會にポートランド・チヤイ種親豚一頭子豚九頭を出品する由

●自動車にて怪我 布市ツラレ街一五一四球場經營藤村氏長女さつゑ(七歲)は昨八日午後二時半頃同ツラレ街一五〇五射的場河野氏方前に於て遊戲中誤つてアルメニア人の操縱せる自動車の爲め仰向けに顚倒し大腿部及び腹部を轢かれたるが幸ひ大腿部に僅かの擦過傷を負ひたるのみにて事濟みたり

●嘉戶氏の出品 リードレー嘉戶治太郎氏は來る布郡共進會にマラガ葡萄を出品する由

●佛敎會小學校開校 布市佛敎會附屬小學校は公立學校同樣九月十三日を以て開校する由尙公立學校新入學生徒は同日午前八時半迄に右佛敎會小學校へ登校すれば公立學校へ同道入學手續を爲す可しと

●佛敎會小學校寄宿舍 同寄宿舍は九月十二日より開會する由

●キングス郡兒童敎育會 同會よりの通報に據れば本月十三日より同會附屬幼稚園並に補習學校始業の筈なるも北川敎師辭任後は後任者未だ決定せざる爲め後任牧師決定する迄は開校する能はざるを以て兒童父兄は暫らく兒童の登校を見合せられたしと尙同敎會當事者は目下後任敎師の物色中なり

●未登錄者に就て フレスノ日本人會は九月二十日迄登錄事務を取扱ふべきが左記各項に該當する者は右期間內に登錄せられたしと

一、昨年以來の未登錄者(出廣子女の登錄せざる者を含む)は未定年者たると否とを問はず登錄の事

二、他日會登錄者にしてフレスノ日會管轄內に轉任せる者も同樣登錄する事

●婦人會 ワイ・ダブルユー・シー・エー主催で九月十五日日本婦人を招待し集會を催す由時日及び場所は追て發表す可し

サンノゼ (八日)

●トメト耕作者會

トメト耕作者は昨日午後八時より商業會議所に集合し目下悲境にあるトメトに就て善後策を講ずる所ありたるか來會者二百五十餘名遂にトメト耕作者同盟會の成立を見るに至り十時半散會したり、最初トメトインスペクターの

▲檢查方針に就て 當事者の說明及び耕作者側の不平苦情百出したるが要するにインスペクターは州衞生局よりの指令に基きて檢查を爲すものなれば如何とも致し方ない、但し現今の如くインスペクターの給料が鑵詰會社より支出せらるゝに於ては情實に囚はるゝは止むを得ざる所なれば此の制度の改善は雙方の利益なるべしと言ふに一致し二三の注意ありて

▲マーケットの問題 に移りたるが鑵詰會社側を代表して出席せるフリー氏は立つて問題は至極簡單なり、要は銀行が金の貸出しを引締めたる結果資金を得るの道絕ね今日の如き狀態を見るに至りたるものなるが鑵詰會社の方にても銀行との交涉は繼續中なれば數日中には何等かの光明を見るに至るべしと確信すと述べ耕作者側にて二三の質問あり、此際耕作者が結束して利益を圖るは時機に適したるものなれば耕作者同盟會を組織しては如何との說出で滿場之れに贊成し本年は時機後れたるも來年よりは耕作者鑵詰所を設立しては如何との說もありたり而して

▲七名の委員を選定し二三日內に鑵詰會社及びマーケットの狀態等を研究し報告書を作りマークリー紙に揭載を乞ひて一般に知らしむると言ふに結着したり

●引籠 南部幹事は扁桃腺炎にて引籠中

●佛敎婦人會 九月十一日午後七時半より例會を開き一村開敎使の說敎を聽く由

●寄附 高津氏は亡妻七七忌供養の爲め金十弗を佛敎婦人會に[illegible]

サリナス (九日)

●次年度の郡稅 モントレー郡の郡稅に就て過日スーパバイザー會議に依て決定したる次年度の郡稅率の主なる點は經常費六十八仙に臨時費十五仙道路及び橋四十仙國道費二十二仙ハイウエー及び橋ボンド二十一仙給料二十仙病院費十三仙其他にて百弗に對する二弗五十五仙なりと

●フイラン氏來らん 民主黨の上院議員にして日本人排斥屋專門ジエムス・フイラン氏は來る十三日午後八時よりアーモリー會館に於て政見を發表し特に日本人問題に付て論議する由なるが景氣付けの爲め音樂や花火打揚の餘興あるべしと

●小田氏愈々開業 再三報道する處ありたる小田醫師は過日來內部の整理中なりしが愈々一般患者の診察に應ずる由場所はサウサル街四十番なり

●日曜說敎 日本人長老敎會の來る十二日の日曜說敎は午後二時より華村藤本牧師の『志道の態度』と題する說敎あり多數諸兄姉の來聽を歡迎す

●婦人會の集會 基督教婦人會は秦夫人轉任後中絕し居たるが當番幹事ミセス小林の司會にて來る十二日日曜日午後三時よりメイン街百十一番小林ホームハウス方に於て開催[illegible]

●個人 フレスノ支社の島內良延氏は二三日前來市[illegible]桑歸任、本社の藏井集金員本日來市地方巡廻集金す[illegible]

學園教師募集
一、夫婦の人を望む
一、住宅あり高給を支拂ふ
一、希望者は履歷書を添へ下名まで
ガーデングローブ 日本人學園
P. O. B. 278 Garden Grove, Cal.

◎新鮮なる材料にて調理◎九月一日より開業◎日本人諸君御來駕を乞ふ
支那御料理 **中央樓**
布市エフ街九五〇

灣東醫院
金澤醫學士 翁久允
金澤醫學士 家田耕三
王府第八街二六八 (代理所跡) 電話王府[illegible]

銀行員入用
當行にて事務員一名至急入用に付き御希望の方は履歷書を添へ御申込相成度候
フレスノ市エフ街九四九
布市勸業銀行

めしや再開業
今般弊館に於ては日本めし屋を再開業致し一般の顧客便宜を計り申可く玆に謹告仕候也
日本旅館內 麥嶺

未登錄者に告ぐ
今回總領事館の通達に依り本會の移牒に基き本會在住者の登錄事務開始に該當する者は至急此段公告候也
一、昨年以來の未登錄者たるを問はず
一、他日會登錄者に轉住せる者も一出づ可き事
一、登錄期間は八月二十日より九月二十日迄の事
追て登錄を爲さゞる他に付嚴重なる取締候間此際是非共登錄有之度候
大正九年八月
フレスノ **日本人會**

収穫期で忙はしいスタクトン河下農園はボーイス諸君のお出でを待つてゐます早くお出でなさい
須市へ!!須市へ!!
加州スタクトン市
須市日本人會農事部

苺苗販賣 純正保證付き第一等品 [illegible] **藤本虎彥**
Fujimoto Berry Farm, San Juan Bautista, California

Mack 使用二千哩 荷自動車 **賣たし** 中央商會 234 4th St. Hollister

ピー種 アメリカン ウオンダー 新種籾を廉價賣出し **堀榮記** P.O. Box 52, Pismo Calif.

王府 **堀田產院** 王府第十番街五一〇 電話[illegible]

產婆 山崎シモ 王府第六街六〇[illegible] 電話レーキサイド四五三六

同胞醫院 (舊武田醫院) 王府テー街五一三 **梁川健雄** 電話レーキサイド四六六七

橋本病院 加州公認 入院隨意 515-6th Street Oakland, Calif. **橋本秀治** 王府第六街[illegible]

食料雜貨 **灣東商會**

羅府 **ホテル太平洋** 山本孝太郎 121 S. San Pedro St. L. A.

美洲樓 [illegible] Oakland

產婆 武田[illegible] 歯科醫師 矢嶋富藏 本間修二 犬飼猛 產婆 成富ツネ アート寫眞館 重富寫眞館 井手產院 駒井寫眞館 羅府支社 小川時計店 松永多平 渡邊準哉 佐藤琴子 須々木榮 モネタ 原醫院 平田篤次

齋藤歯科醫院 宮田雄次郎 南加日本病院 唐木保藏 月藤歯科醫院 倉田歯科醫院 產婦人科內科 古澤醫院 小林診察所 高等御食事所 **川福** 深澤歯科醫院 **大正ホテル** 布市支社 布市 部谷書店 藤森治療所

日本人間唯一の家具店 **M&T 家具店**

篠原眼科院

別府溫泉 **湯の花**

セントラル魚市場 CENTRAL FISH CO. P. O. Box 316 San Pedro, Cal.

養老保險 **小野助四郎**

溫泉

Sato's Book Store 新刊書籍到着 **佐藤書店** 東一街三百四十一半

太平洋沿岸魚市場 Pacific Coast Fish Co., P. O. Box 266 San Pedro, Cal.

江田產院 松本兄弟書店 倉谷鍼灸治療所 三浦產院 **布市勸業銀行** 小此木病院 **柏屋** 御菓子調進所 村尾鍊志 フレスノ病院 中加產業社 鍼灸專門 白山紀一 關直太郎

サクラメント（九日）

●フロリンの葡萄出盛り
▲初出荷の値段入電す

貨車不足の嘆はあれど之れが爲めに未だ摘採者の作業を休むほどには至らず不足ながらも引き續き補助廻送さるゝ貨車にて二日迄は倉庫に停滯することもなくフロリンのトーケー葡萄は正に出盛り期に入り一日平均二十貨車程仕立てられ居れり唯だ輸送は全耕作面積の三分の一にも到達せざるが本年は降雨早やからんとの豫想にて耕作者は一般に摘採を焦せる傾向なりと云ふ

昨日東部市場より去る八月廿四日及び二十七日に輸送せる初貨車分の賣行値段の入電ありしがパシフック果物會社取扱分は一箱四弗二十五仙、ウエスターン果物會社の分は四弗五仙之れは共にエキスプレス便にて輸送せるものフレーツ便にて輸送せるフランクパック會社の分は四弗二仙の賣れ行きを見たる由なり

●ルーミス土地所有者
▲聯合組合を組織す

ルーミスに於ける二十近くの同胞土地所有者は年少の土地所有者をも合してルーミス土地所有者組合なるものを組織し眞壁信藏氏を組合長に近藤氏を副組合長に佐々木、大谷兩氏を會計に擧げ高橋喜一郎氏を書記としてタウンなるルーミス銀行隣り家屋を借り入れて事務所を設け組合員の土地に關する一切の帳簿上の整理を掌らしめ且つ桑港のカルデン及デキソン兩辯護士を法律顧問とする快諾を得たる由

●佛教青年演説會

櫻府佛教青年會にては同會主催の下に明夜八時より同會々堂に於て桑、須、櫻聯合の佛教青年會選出辯士の演説會ありしが聽衆約七十名にして増永正彦氏司會し櫻府佛教學友會赤星武雄氏は『力行不惑』同青年會吉田末彦氏は『初心を貫徹せよ』須市佛教青年會市川耕三氏は『青年の廓清と社會事業』と題して何れも長廣舌を振ひ最後に桑港佛教青年會長たる細川見城氏は『改造運動の基調』と題して明快暢達の辯能く聽衆を魅し十時過ぐる頃散會したりと

●農會理事會

中央農會理事會は昨日午後三時頃より當市日本銀行樓上の米作者倶樂部室に開催出席者は千葉、今野、松岡の農會員始め須市鈴木、バカビル古屋、ルーミス眞壁、コルサ横井、鳥居、メリスビル國府田、チーコ長尾、櫻府稻垣、松本の諸氏にして千葉豊治氏より故國訪問に關する委員の報告あり次に排日イニシエテーブにつき動搖せる傾向ある農業家に對し借地權及土地所有權の法律上の疑義を巡廻説明し權利の確定を佐けること有志の發起により内外企業調査會を設立すべく更に研究すること等を協議したり

●春日乘組員へ慰問袋

豫て市内各所に配布中なりし櫻府日本人會よりの春日乘組員への慰問袋は篤志者よりの中味充實の寄進により五百五十袋を二箱に籠めて昨日發送せりと

スタクトン（九日）

●故松林重吉氏葬儀

山口縣熊毛郡佐賀村出身松林重吉氏（四十一歳）は肝臟病に罹りフレスノにて死亡し遺骸當市に着したれば知友及び同郷者は昨日當市佛教會にて葬儀を執行せりと

●樓臺葡萄の下落
▲原因は未熟物輸送

今夕當市英字紙レコード樓臺支社よりの通信に依れば先週中東部に輸送せる各種葡萄の値段下落の傾あり原因は未熟物を輸送せるため糖分及びカラー共に不充分なりと云ふにあり即ち

▲クリーブランド市　トーケー二弗六十仙、マラガ二弗十仙、マスカット二弗、ジンフアンデル二弗

▲市俄古市　トーケー二弗六十仙、マラガ二弗五仙、トムソン一弗七十六仙、アリキヤンテス一弗五十三仙、ジンフアンデル二弗十九仙

▲紐育市　アリキヤンテス二弗八十三仙、マラガ二弗十仙、マスカット二弗六十五仙、トーケー三弗七十五仙、トムソン一弗六十仙

▲ピッツバーグ市　トーケー五弗、アリキヤンテス二弗二十五仙、ジンフアンデル二弗廿五仙にしてピッツバーグ市を除く外概ね相場不振を示し居れり

●佛教婦人會送別會

石丸開教使夫妻歸朝決定と共に後任として青木開教使來任の事は既報の如くなるが今回佛教婦人會及び淑女會主催の下に來る十二日午後一時より佛教會に於て兩開教使夫妻の送迎會を催すべしと

●樓亞演説會

樓亞會にては先週來賭博撲滅演説會を毎土曜日夜開催する事となりたるが來る十八日土曜日には須市日會の鈴木理事及當支社及川出演の筈

●早石醫師出桑

當市の早石ドクターは明日入港の天洋丸にて義弟内田氏及び京野順八郎氏着桑出迎の爲め本日出桑

●當支社事務所移轉

今迄東ラフアエット街に在りし當支社事務所は本日より南エルドラド街四四日本人會と同じオフイスビルヂング内に移轉せり電話は目下架設中なり

●淸元師匠出發

永く當市に在りし淸元師匠源喜代美子は都合に依り桑港に轉住する事となり昨日當市出發桑港に向へり

●新電話

南コンマース街　佐藤時春氏住宅新電話番號は五〇二七W

オークランド

●春日將校來王

昨日午前十時春日副艦長上村少佐を始めとして他數名の將士は東王府のデユラント飛行學校を視察の爲め來王、眞名子、田村の諸氏案内役をつとめ同學校にては凡ての設備を開放して將校諸氏の觀覽に供したり、尚は陸軍飛行少佐チヤムバース氏は一臺の飛行機を操縱して飛揚せり

●エボース同盟會

亞市南美以敎會エボース同盟會は今日午後八時半より同敎會内に於て定期總會を開催の由

●今井牧師歡迎晩餐會

王府美以敎會牧師今井三郎氏は東部の遊學を了へ歐洲を視察して去る日曜歸王したるが明日禮拜說敎に於ては『歐米に於ける最近の宗敎思想』を講じ、夕刻禮拜說敎には『歐洲の社會觀察』を述べて最近歐米の諸問題を論ずる由なれば一般の來聽を希望すと尙は午後六時同牧師の歡迎晩餐會を敎會にて開催の由なれば午前中まで内海夫人に申込れたしと

●竹下氏の消息

紐育生命保險大會に出席の爲め出發したる竹下靜馬氏は去る土曜日紐育に着したる旨消息ありたり

●來往

布市支社主任島内氏は沿岸地方旅行中なりしが一昨日サリナスの岩切、林の二氏同伴ターラックに向け出發

●慰問袋二百五十三

王府日會は春日將士を慰問の爲め二百五十三個の袋を調製して去る六日在米日會まで送り屆けたる由

●所得稅帳を種に詐欺

昨年の今頃サンパブロ街の大川靴屋に商人風の男來りて政府の命令であるも如く所得稅帳簿の事を云々し强いて大川氏に帳簿を買はせた事件があつたが今年もグローブ街の夏原クリニング店におなじ樣なる事を言つて薄つぺらな帳簿を五弗五十仙に賣りつけて行つた白人がある。彼は矢張り恰かも役人か何かの樣に言つて無理に買はせて步いてる樣だが斯かる詐欺的な商人の爲めに欺かれぬ樣にして貰ひたいと日會幹事からの注意があつた

ワツソンビル（七日）

●同胞の面汚し

今朝十時半頃山本儀太郎なる者が僞名を用ひて他人のチエツキを銀行より引き出したる咎でアレストされたり同人は當地廣島屋旅館止宿中の四ツ谷氏は去る土曜日頃山口氏より振り出したる同氏宛のチエツキ一百弗紛失したるを見出したるが日曜と勞働日との休日が二日續いたので今朝十時頃旅館主に依賴して銀行へ同チエツキ紛失の旨を屆け出でた所銀行では十分程前に一日本人に現金を取り換へたとの事に早速チーフボリスとキヤツシヤとを同伴して華村ジヤンクソン停車場へ行き直に南加方面へ出發しようとして居る山本を難なく捕縛したが裁判は明日留守中の撿事テーラー氏が歸華してから開かれるさうである、同胞の面汚しである

支社移轉　今回當支社事務所南エルドラド街四四番日本人會隣室に移轉仕り候（電話架設中）　九月十日　**日米須市支社**　44 S. El Dorado St., Stockton

當會長石丸龍省師來十八日桑港解纜天洋丸にて歸朝せらるゝ事となり後任として開敎使靑木善雄師就任せらるゝに付來十二日午後六時美吉野亭にて兩師送迎會（會費三弗）開催候間御繰合せ御出席相成度此段廣告候　追て出席者は十日迄に市内赤羽商店、伊藤商店、宮田商店迄御申込み被下度候　九月七日　**須市佛教會　兒童寄宿舍**　**會員各位**

◎**節入リ講談**◎　各地巡業口演仕るべく候に付き御最負の程願上候　節入り講談獨創口演者　**雀家正樂**

小生今回紐育生命保險會社の總會に出席の爲め約三週間の豫定にて東部へ旅行致候處小生留守中も平常の如く執務罷在候間遠慮なく御用命仰せ付け被下度此段御挨拶申上候　八月廿五日　櫻府エム街と第五街角　紐育生命保險代理　**武田正夫**

苺苗特別仕立**販賣**　バンナー種　ニューオレゴン種　ニコハマ種　右はオレゴン州に於て自分經營の農場に培養したるものにて取次ぎ品に非ず隨て品質確實なる事を保證す　加州サンオン市　**佐藤勝太郎**　K. Sato, R. F. D. 4B, San Juan, Calif.

日米櫻府支社　第四街千四百十四番　電話メーン三〇六六

●**移轉廣告**　弊院事今回エヌ街四百十五番（舊宅筋向ひ）へ移轉致候間此段辱知に謹告仕候　敬具　櫻府　**旭眼科院**　電話三五五二（舊通）　三木雄造

櫻府第四街一二二五　電三六四三　和洋食料　鳥御小賣　**谷本商店**

櫻府エル街日本座向側　電話メーン二八五一W　**降矢時計店**

土地賣買　通辯事務　メリスビル市二街デー街角　電話二五一　住宅東洋旅館内　**杉本事務所**

櫻府エヌ街四二七　電話二九三三セー　**麴味噌製造所**

櫻府第三街一二二三　電メーン五二四七W　**竹本ドラグ**

櫻府日本銀行階上　電話メーン三一一五セー　**下島寫眞館**

櫻府エム街三〇九　電話二七一〇セー　和洋食料雜貨　**廣島商店**

第四街一一三〇七　メーン三一一一W　**日本鳥屋**

公認　櫻府第三街とエムの街角　電話メーン一三九九ゼー　**吉田齒科醫院**

櫻府第四街千二百十番　電話メーン三九二一セー　住宅三〇九四　**高橋通辯事務所**

紐育生命　櫻府第四街一四一四半　電話二〇九〇W　**片岡貫一**

櫻府エム街四〇一　和洋食料品　電話メーン一一三七　**吉村商店**

公認　櫻府第四街一三〇八　電話三五八一セー　歯科醫學士　佐藤廣吉　樂館二階　**佐藤齒科醫院**

櫻府第三街一一一四　電話三七八六　鮮魚、野菜其他罐詰類卸小賣　**みかど魚店**

櫻府エム街三〇一番　電話メーン三九八　**崎山商店**

櫻府第三街一一二〇　電話メーン二九四七R　**イーグル病院**　**イーグル藥店**

櫻府エム街三二四　電話三七八一　**サクラ藥店**　藥劑師　吉田勝太郎

和洋雜貨、金物類　エム街三〇〇　電話メーン七七一　**紀伊商店**

櫻府公認產院（いろは順）
岩井きよ　第三街一四一六　メーン三五八五J
蟹江嶋子　エヌ街三一四　メーン二〇二一R
山浦なつ子　第四街一四一〇　メーン三六八六W
小林ひろ子　第四街一四〇三　メーン四八三
宮崎アイ　第四街一四一八半　メーン四二一五M

岡山旅館　櫻府エム街二六（五街の角）　電話メーン一五二〇
大北館　櫻府第四街一二一六　電話三八四五R
川村旅館　櫻府エム街三〇九　電話三二八八　川村伊太郎
肥後屋　新居兄弟　第三街一二二二　電話三〇二八
備州ホテル　山田　府エム街三一〇　電メーン三六六J
日本館　櫻府第四街一二二七半　電話メーン一一二一M
西村旅館　第四街一三二四　電話二三五七W
日の本旅館　エム街三三三　メーン三〇一四
廣島旅館　櫻府日本町八　電話メーン五二四七J

櫻府第三街一一二五　電話メーン四九三一Y　**酒井藥店**

保險　櫻府エム街四三一　電話メーン五〇三〇W　**武田正夫**

櫻府第四街一一二一　切花及寫眞機　電話メーン四三七七W　**丸三商會**

櫻府第三街一一三七　加州公認　東京帝國大學醫學士　石井銀佐　電話メイン六三三　**石井醫院**

櫻府エム街三一四番　電話メーン三六〇五ダブリュー　加州公認　**村上病院**　▲內科　▲外科　▲內臟外科　▲婦人科　▲肛門科　元帝國大學病院在勤　ドクトル醫學士　村上利通　住宅第五街PQさのアレー五一二半　電話一九七二W

櫻府六街一一二六エルとエムの間　電話メーン三八六七W　**大和家具商會**

櫻府第四街一三一一　電話メーン八九七番　加州公認　ドクトルメヂシン　沖田楠之進　内外科、小兒科、產婦人科　住宅電話メーン二九六〇W　**名出病院**

櫻府日本銀行階上　住宅第四街一二〇四　電話メイン五一七〇J　**松野齒科醫院**

櫻府第四街千二百十四番　電話二六六七W　吳服雜貨及食料品　**東西商會**

第四街一一二七A　電話四三七七セー　**吉田寫眞館**

第三街一一〇六　電話三三三セー　**日本寫眞館**

櫻府第三街一一一五　電話メーン一二六五W　**黑河寫眞館**

ふとんとブランケット　**毛糸各種**　澤山着荷仕り　大減價賣出し　(久)　スタクトン　南エルドラド街二一八電話七四七　**長谷川商店**

預金利上ゲ廣告
◎在外者小口當座預金　年六分五厘
一從來年五分五厘の處今般上記の通り利率引上げ三月一日より實施致候
一本預金は在外各位に御便利なる預金にして出し入れ共通帳に依り五ヶ年間は書替の必要無之候
一利息は年二回計算して元金に組入れ可申候
一預け入れは銀行又は郵便爲替にて御送附被下度候
右取扱店は當行廣島　下關　門司　神戸　福岡の各支店に御座候
◎定期預金　六ヶ月以上　年六分五厘以下
株式會社　**三井銀行**
本支店出張所所在地　東京（本店）　深川（東京市）　箱崎（東京市）　小樽　名古屋　京都　廣島　横濱　神戸　下關　福岡　大阪　大阪西（大阪市）　中ノ島（大阪市）　川口（大阪市）　門司　若松　長崎　上海（支那）

第四街一二一九　電話二八七三R　**朝日時計店**

櫻府四街一二〇五　住宅電話四六八二W　**隆辻便利社**

保險　櫻府エヌ街　電話メーン三一一五W　**末本**

櫻府第三街千二百十五　電話メーン三六一一　**有名商會**

櫻府第三街一二一八　食料品金物類　電話メーン三一三　**いなか商店**

櫻府エム街二百廿八番　電話メーン二〇一一　認可　**唐津エンゼル病院**　手術注射入院往診治療隨時內科外科皮膚病小兒科泌尿科產婦人科眼科耳鼻科咽喉科　ウアテルミ精神感療老人病科　クリニカルラボラトリー　加州公認ドクトル　唐津德光

唐津病院附屬　**病源研究所**　健康診斷、姙娠性別、小兒智力推定、手術適否檢查、急性慢性病試驗遠方は通信應答

第三街一二一九　電話三五七八セイ　**櫻面都魚店**

櫻府エム街三百十番　スターソーダ**水製造所**　電話メーン三一八七

靴　櫻府角座　**津田商店**

佐藤靴店

須市ホテル　室內淸潔　玉臺の設備あり　東マーケット街一二四　電話七三二　元日本人病院跡　水谷猛

精神療法　サンノゼ市北第五街五六五　電話サンノゼ九一四　**中島施術所**　不治の病後天的不具其他難症根治手術服藥要をせす

入院隨時　公認　本院の療法は歐米に於て最大著名なる米國ミシガン州バツトルクリツキ病院の治療法に基き胃腸病專門療法、溫電療法、オステオパセー等其他十數種の化學療法により諸病を即時に治癒し得るのみならず從來不治症とせし慢性諸病を根治し得る靈効顯著なる新療法なり　胃腸病一切、神經衰弱、比例的肥、腦病、不眠神經痛其他腦脊髓より起りたる諸病、慢性急性リヨマチス、胃腸病、肺病、肋膜其他腎臟病其他、つかい、痛風、痴氣、肩の凝、脚氣、皮膚病、產後の血の道、婦人病一切、接骨、打撲症、筋違挫き、不具患者其他諸病　櫻面都市第四街千四百一番　**西野療院**　電話四九七七アール

米問屋　**井上商會**　各種**肥料**　**サック**　古サックもあり　櫻府エム街三百十二　電話メーン三八一壹ゼー

櫻府エル街四二四（新古家具）　**O.K.家具金物商店**　電話メーン四六七〇（ペンター廉賣）

公認　**ライオン藥店**　專門醫紹介及通辯、診察室設備完全　櫻府第四街千二百十七番　電話メーン一五六六　店主　水家

櫻府　第四街とエル街角　株式會社　**日本銀行**　電話メーン一〇七八

鍼灸採療治　內務省免許　エヌ街四百八番　電話メーン二九六〇J　**根立院**

保險　ウエスタンステート　1309 4th St. Sacramento　電話メーン四〇三八M　**河本源吉**

友岡旅館　河下　ウ村郵便局一〇五　コートランド二九四

東ラフエット街壹壹八　電話三五四六　**須市支社**

不肖儀昨秋東部大學遊學の處歸須從前通り診療に從事　無痛注射　須市南センター街四〇一　日本旅館內　電話七二九　▲內外科　▲泌尿科　▲婦人科　醫學士　若梅純義　**若梅醫院**

公認　**岡本醫院**　須市日本人會隣室　（電話）八五三　住宅五〇二七セー　▲外科　▲內科　▲婦人科　▲小兒科　ドクトルメジシン　岡本力一

須市東ワシントン街二八　電話　醫院五〇八三　住宅四九六三W　**石川醫院**　診察時間　自午前十時至午後八時　◎產婦人科　◎內外科　◎泌尿科　加州ネバダ州兩州公認醫　ドクトル　石川榮助

東ラフエット街一二九　Tel. 4408W　**江頭豆腐店**

須市南エルドラド街四四四電九〇四住宅電話二三六二　J. Hayaishi, M. D.　44 S. El Dorado St., Stockton, Cal.　室內淸潔、設備完全　央加兩州公認內外科醫　ドクトルメヂシン　**早石醫院**　早石實藏

タフトホテル　スタクトン市南センター街一二四　（電話三六四〇）　御來市の節は是非御投宿を願ます　麻生德三郎

公認　**醫化學研究所**　須市南エルドラド街三〇五　薩摩屋內　電話二二五六　略痰、胃液、血液、糞便、病源微生體檢查、及び一般病症診斷　帝大醫學士　黑田隆良

內田醫院　須市南エルドラド街二二八　福岡屋內　電話二五九四　加州公認　▲內科　▲小兒科　▲泌尿科　▲外科　▲眼科　獨逸ドクトル　醫學士　內田賢助

●**貸自動車**　須市南センター三一〇　電話一九八八　平榮太

糀　食料品雜貨商　スタクトン　**高橋商店**　333 S. Center St., Stockton.　電話三三九四

食料品、雜貨類、大勉強　電話二二五五　**佐藤商店**　110 W. Washington St., Stockton, Cal.

須市蓄音機店　シンガー裁縫ミシン販賣　6 W. Market St., Stockton, Calif.

日本藥店二階　公認齒科醫學士　工藤盛勝　公認齒科醫學士　中原久一　**工藤齒科醫院**　（電話二三二五）

公認　**北原產院**　須市南センター街一三七　電話一一九一W

貸自動車　須市東ラフエット街二七　淸水　電話二四七五

質店　金銀寶石、時計修繕　せんべい製造販賣　**國井時計店**　40 E. Washington St., Stockton, Calif.

須市旅館業組合
日本旅館　バナマホテル　豐明館　尾張屋ホテル　加州館　ヨセミテ　中島ホテル　南海屋　グランド　福岡屋　安藝旅館　サンオキン　サツマヤ　紀州館　錦帶旅館　ミカドホテル　廣島屋　肥後屋

公認　須南マデソン街二二〇　電話二九〇三ダブリュー　**久世產婆**

支那料理　**安樂心**　室內淸潔　▲原料鮮良　▲諸君歡迎　▲宴會並出前　▲電話一七六九

書籍雜誌　**須藤文明堂**　33 E. Market St., Tel. 329

金物・STOVE・厨具　THE RUHL-GOODELL CO.　315-319 E. Weber Ave., Stockton.

質屋　時計寶石類　シンガーミシン　須市南エルドラド街一三四　電話一六〇五　**渡邊商店**

花屋　加州花店（電一二四一）　7-9 N. Calif. St., Near Main

シムソングレー　Simpson-Gray Lumber Co.　124 W. Weber Ave., Stockton　電話スタクトン二四　キヤンプ用木材を格安に御需めに應じ候最も波止場に近し　**材木屋**

東ワシントン街二六　電話一九五六　**竹本魚店**

須市東ラフエット街四四　電話二二五五W　**木村ミシンガーミシン店**

須市南エルドラド街三二〇　電話四六〇〇J　**島田豆腐店**

須市南マデソン街一一九　電話二〇三ゼー　自動車の設備あり　**西村產院**

和洋食料品　電話八七　323 S. Center St., Stockton, Cal.　**津玉商店**

電話ローダイ八五　P. O. B. 121　**ローダイ商店**

Valley Lumber Co.　▲各種材木大勉強　▲日本人諸君を歡迎す　**ヴァレー材木店**　樓臺東エルム街洗濯所向側

御旅館御料理　電話ローダイ四四　20 N. Main St., Lodi, Calif.　**廣島屋**

雜貨食料品商　ローダイ市北メーン街六番　電話九三　**宮島商會**

南メーン街　郵函二四五　食料雜貨　**中國商會**

佐藤

サンノゼ太平旅館（電三二一〇）　住宅北六街五三二（電一三二五）　**醫學士　落合**

眼科　**內外科天野醫院**　佐市北第四街六一二　電話サンノゼ一〇九九　新注射、神經痛、結核其他　院長　大阪醫科大學醫學士　天野貢

男女子供用洋服帽子其他一切　サンノゼ市ジヤクソン街一八七　電話サンノゼ四二七一　**榮喜洋服店**

華村　**バーランド葬儀社**　自動車使用諸事懇切取扱　イーストレーキ街三三五　電話六三三ワイ　Burland Undertaking Co.

晝夜共寫眞撮影　佐市ジヤクソン街二二一　電三二五四　**石野寫眞館**

ニューヨーク生命保險會社代理　サンノゼ市北第三街五五六　**木村保險事務所**

不鳴千鳥（三二）

長谷川伸

『貴方達は何をなさる』
沈勇の士のやうに兩腕を淺く組んで相手を睨んで口を切つた六郎の半面には星の光が青く彩つてゐます。
『お前さんに無心があるのだ』
親分は羽織の紐に手をかけてこれも沈着な口吻です、後の二人は唖のやうに突立つて爛々と眼に光を放つてゐます。
『無心をいはれるが、何を私から貰ふのでせうな』
『こんな往來で云ひたくはねえ氣の毒だが一寸顏をかしてくれなア直ぐ近所だ手間隙なしに埒をあけらあ』
『仕誼によつて顏もかしませうぢやが、自體貴方達は私を知つてゞも居なされるか』
『知らねでよ、小二十年も昔此の土地にゐた人間だ、洋行歸りの大池さんと知つての上だ』
『大池？はあ、それなら人違ひです、私は粕谷と云ふ者です』
『かう白ばくれツこなしにしやう、子供だましの甘味を食ふのぢやねえ、笑談いふねえ』
『すると私を大池だと極て居られるのですな』
『當り前だ、ヲウ惡い事はいはねえ素直に云ひ次第になりなよ、で無ねえと飛んだことになるぜいふね此方人は刑法なんか恐れねえ人間だ』
『立派な事を云ふ人達だ、國法を恐れぬのを自慢なさるか、貴方達は餘程大膽不敵と見ゑる』
『大膽不敵はた前の事だ、コレ此方人を誰だと思ふ』
『名乘らずとも判る程の人物でもないからな』
『俺は大三親分の遺して行つた土橋の辨慶だぞ』
『たゝ』
六郎の假面はハラリと落ちて大池治一郎の生地あらはに驚いたのもその筈です、土橋の辨慶とは芝浦で手にかけた男の一の乾分、暴戻、慓悍、名代の毒蟲でした。
『それ見ろ、ギックリしたらう隱したつて駄目だ、大池治一郎と嗅ぎつけてゐるのだ、さあ野郎己と一緒に行けッ』
『私は飽迄も人違ちやと云ふ。大池とは云はぬ粕谷六郎だ米國で總領事から貰つて來た旅券が證據ぢや』
『默れ默れ今更卑怯をいふない大池、どうしても粕谷だと云ふなら粕谷にもして置かう、が一緒に行くのは厭とはいはさねえぞ、近い處ださア歩べ』
『どうしても同行を強るのか』
『左樣だ』
『此處ではその用は足りねのか』
『成る事なら此處で足したい』
『成らねえ』
『何故成らぬ』
『そんな事訊かすといふ』
『フ、君達は巡回の巡査を恐れてゐなさるな』
『何ッ』
叫んだのは今迄黑い棒のやうに立つて居た印袢纏の二人でした、一齊に飛び蒐らうとするそれ等を辨慶は制しました。
『恐れるものか、そんなもの』
『然らば此處で尋ねる事があるなら尋ねるがいゝ』
『ぢやどうでも素直には歩ばねな、野郎ッ』
大聲叱呼して辨慶は匕首にキラリと星を光らせ六郎に肉迫しました。
『命を懸けても歩ばねか』
『何だ、それは短刀か』
『厭と吐しや人間を料理る人斬り庖丁だ』
『お前のは光つてゐるが私のは大分黑いぞ』
悠然と六郎は短銃を出しました

◇口腔衛生（八）　齒病の話

赤子が生れ落る頃には乳齒永久齒共にチヤンと顎骨中に形成せられてゐるものであつて、永久齒列は乳齒の根の下に位してゐるのである。

石鹼で綺麗に洗ひ淸めてない限り又は消毒したゴムサツクを被せてない限り、或は消毒ガーゼで包んでない限り、兒童に其指を嚙へさせるものではないと云ふのは不潔な手や爪からして病菌が傳染し易いからである。口の中は何等清掃する必要のないものだと以前は考へられてゐたが却々どうして毎日缺かさずに掃除する必要があるものだと考へられて來た。

ドクトル・トルビー・キング氏は生後第二年間極めて自然的に而も簡便に齒牙を清掃するには晝食後半時間ばかり兒童に成熟した林檎を三分の一だけ皮を剝いて食べさせて少しも吐き出させずスッカリ嚥み込ませるに限ると說いてゐる、彼の原始時代の人々が野生の草根木皮を食用に供してゐたといふのもツマリは其等のものが今日齒刷子の代用をするに足るものだといふことを見拔いてゐた譯だ。生後一年餘經らさへすれば小さい柔かい毛の刷子を以て毎日子供の齒を磨いたり齒根を擦つたりしてやる事は甚だよい事だといはれて居る。

齒が綺麗であれば決して齲齒には罹らない"A clean Tooth never decays"といふ事は始と今日では常套語となつてゐる、清潔な齒には食片は停滯しないし又唾石も沈着しない、即ち醫學上から見て其理想とする處は兎に角食後齒牙を清掃する事である、處が完全にこの理想を現實することは困難で精々朝起きて一回位する位のものだ、間食するといふことは一つの惡い習慣であるが、間食の中で殊に砂糖分や澱粉類の物を多く食ふ惡癖はそれが爲めに消化障害を惹起する許りでなく、齒の面に食片を停滯せしめ易く其物が其處で醱酵すれば齒を溶かす乳酸が出來、從つて齲蝕を誘發することゝなる。

更に茲に特別の警戒を要すべき問題は齒科醫の所謂不正咬合である、咬合とは平たく云へば口を閉ぢた場合に上下の齒列が共にピタリ合ふことを云ふのであつて、不正咬合とは即ち此肝要な狀態を保ち得ない有樣をいふのである、であるから不正咬合即ち上下の齒列が上述の如く緊密に咬合し得ない場合は勿論食物の滿足な咀嚼は期待されない譯だ。

川柳

○二港を叫べば其筋が喧しい
○七千萬の內七百位と政府
○大彌次を輕井澤から呼寄せる
○多數黨パルチザンより憎がられ
○柳太郎武吉三郎猿轡
○ベイロシヤを眞赤にさせて手を拍き
○時折は大岡議長の氣にも成り

都々逸

○直な操の節ある竹も、枯れて朝顏搦ませる
○與黨振りして畑の南瓜、蔓をたのみに肩を張る

加州齒科醫師會

井戸本保之助（いろは園）　桑港ゲリー街一五二六
林德太郎　桑港ポスト街一七七六　フイルモア七九二
小川榮一　桑港ブキヤナン街一七三九　フイルモア一四二〇九
田中敏太郎　桑港ポスト街一五三〇　フイルモア一九一〇
山本辰雄　桑港ブキヤナン街一五六八　ウエスト六八四
谷田部保　桑港ブキヤナン街一六四五　フイルモア一二六八
藤田省三　桑港サター街一八七七　ウエスト五二八二
木暮篤太郎　桑港ポスト街一六六四（五車堂二階）　ウエスト八三五〇
檜垣益一　桑港ポスト街一六六二　フキルモア一二六〇　ウエスト二四八四

桑港公認齒科醫師

北河醫院　1552 Buchanan St.（北米アパートメント）
公認醫院開業　スタンフオード醫科大學出身　バチエラー、オブ、アート　ドクトル、オブ、メジシン　元レーン病院助醫　北河慶次郎
診察時間　平日午後一時より六時まで　日曜午前九時より十時迄
電話フキルモア五二八八

中央病院
內科、小兒科　眼科、皮膚科
血液、胃液尿、糞便の顯微鏡的化學的檢査に應ず
桑港ブツシユ街一九五六（ラグナ街ブキヤナン街ノ間）（舊竹岡病院）
醫學士　渡邊悅藏
電話フキルモア一八四九
診察時間　午前十時より午後八時迄　但し急患は此限りに非ず

帝國病院　1629 Post St., S. F.
入院隨意
顧問　醫學博士　渡邊恭禮
主任　ドクトル　伊津野房一郎
桑港ポスト街一六二九　電話ウエスト七二六二

日本病院　Tel. Fillmore 2604　1811 Pine St., S. F. Cal.
外科皮膚科　産婦人科　ドクトル　黑澤格三郎
小兒科、耳鼻咽喉科　內科　千葉醫學士　春田忠藏
桑港パイン街一八一一　電話フキルモア二〇〇四

小田運送店　ポスト街一七七六　電話フキルモア四六一

朝日運送會社　桑港ブキヤナン街一六〇一　電話ウエスト七一一七

食料品雜貨　洗濯用品一切　**デユポント商會**　桑港ゲリー街一五〇三　電話ウエスト一八三六

觀光團員募集
十一月十九日さいべりあ丸にて出發御通知次第趣意書送呈す
桑港旅館組合主催第七回本團員に限り出國稅納附の必要なし
東洋觀光團　申込所組合旅館

井本旅館　サウスパーク一〇八　電話ドグラス五九三
防長旅館　サウスパーク一〇三　サター八五〇一
日本ホテル　ラグナ街一五五一　ウエスト三二一五
日米ホテル　ブッシユ街一六二八　フキルモア一四六六
北米旅館　ブキヤナン一五三〇　ウエスト三二二一
田村旅館　パシフイツク街四一〇　ガーフイルド三一六
近江屋旅館　サウスパーク一〇八　ドグラス四八九八
加州ホテル　ストクトン一〇三九　ドグラス三一一三
名古屋ホテル　ポスト街一七五九　フイルモア三三三
南海屋　ゲリー街一五二三　ウエスト六九三九
熊本屋　サウスパーク七〇　カネー二七二九
山口屋　ジヤクソン街七七　カネー二四八七
福岡屋　サウスパーク一二一　カネー二七一三
富士ホテル（玉城館）　グラント街五五三　カネー一三〇五
永本旅館　サウスパーク三　サター八六六一
安藝ホテル　ポスト街一六五一　ウエスト六二一一
紀の國屋　ブキヤナン一六三三　ウエスト五五四六
ミカドホテル　ポスト街一七三四　ウエスト一九九一
エビスホテル　ブキヤナン一六三五　フイルモア一九三二
廣島屋　ポスト街一六三二　ウエスト九四八

桑港旅館組合船客送迎事務所　404 Pacific St. S. F.　電話ドグラス三七九四

大阪朝日　取次　桑港　知新堂　37 Beideman St. San Francisco, Cal.

公認產婆　**村山なみゑ**　桑港ポスト街一六二四　電話フキルモア一七六一

內務省免許產婆　**倉本ひな**　桑港ブツシユ街一九〇七　電話フキルモア一九〇四

公認**小林產院**　妊婦、產婦收容の設備あり　帝國大學產婦人科卒業內務省免許
公認產婆　小林ちか　桑港ブツシユ街一九五四　電話フイルモア三七〇七

公認**林產院**　桑港ポスト街一五二八　電話ウエスト五七六八

公認產婆林イエ

草間醫院　1808 Bush St.（桑港病院內）
公認醫院開業　スタンフオード醫科大學出身　ドクトル・オブ・メヂシン　元レーン病院助手　草間良男
診察時間　午後一時より午後五時まで　日曜午前十時より十一時まで
入院隨意
電話フキルモア一九八六

公認**川口產院**　姙產婦收容の設備完全
內務省免許、加州公認產婆　川口藤子
桑港ブキヤナン街一七一四　電フキルモア四九四七

フランクリン　**六六**　賃金低廉　迅速町嚀　應御用命

公認**大久保齒科醫院**
齒より來る故障は體內諸疾病に直接原因となるはX光線應用に依り醫學社會の實證なり
平日午前九時より午後五時迄
406 Sutter St., Cor. Stockton　Mc Laud Bldg. Room 304　Tel. Sutter 7436

獨逸病院囑託通譯　**高尾鶴松**　桑港スタクトン街七五八　電話カーネー二四七六

公認調劑　**日本ドラグストア**　桑港ポスト街一六九〇　電ウエスト一八八六
NIPPON DRUG CO.　1690 Post St., San Francisco.
藥局　藥品目錄無代贈呈

大阪藥店　郵送無料　公認調劑
● 滋養強壯 **活力素**　神經衰弱、貧血、精力減退、虛弱等補血の良藥　坪井博士發見　一ケ月　一弗八十仙
● 有効確實 **つわり錠**　婦人姙娠時に苦しむツワリも本劑に依りて根治す　米國製劑　三週分　二弗
● 男女強精 **強精錠**　精力を增進し神經機能衰弱を治す最新藥なり　百錠入一瓶　五弗　二瓶九弗三瓶十二弗
● 赤十字印 **胃腸丸**　急性は勿論多年難治の胃腸病も本劑で全治す　米國製劑　百錠入一弗
● 最新方劑 **わきが妙藥**　慢性惡臭のワキガも本劑に依りて拭ふが如く治す　二週分　一、〇〇
藥局　多年の經驗あり日白人藥劑師によりて適藥を低廉に提供す
桑港ポスト街一五九四　電話ウエスト三四七四
OSAKA YAKUTEN 1594 Post St., S.F. Calif.

愈々味噌の季節となりました

ハナビシ白味噌

各地食料店にあり

是非共御愛用願ひます

桑港　太平洋貿易株式會社

◎御婦人用オバコート
羅紗無地色々　二十弗より五十五弗
ベルベツト又はプラシユ　四十弗より六十弗
毛皮付プラシユ　百弗及び百五十五弗以上
特仕立

◎紳士用外套
特別厚地牛裏　五十弗より六十弗
霜降オツクスフオード總裏附　三十八弗より六十五弗
黑、紺、茶無地　三十五弗より五十五弗
御誂は四十五弗以上八十弗位迄

男女洋服卸小賣　雜貨輸出入

ふく組

本店　桑港ポスト街一八六三　電話ウエスト三四四
支店　同サクスパーク一〇四　同サター三六一八
同　橫濱市本町五丁目九〇番地